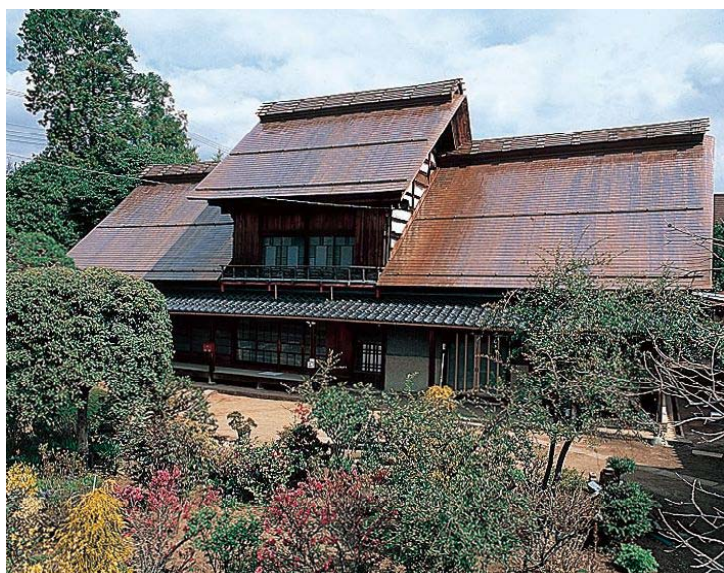


Chapter
4

第4章
地域別まちづくり方針



第4章 地域別まちづくり方針

■地域別まちづくり方針の考え方

地域別まちづくり方針の主旨

地域別まちづくり方針は、今後の地域単位のまちづくりの指針となるもので、全体構想で示したまちづくり方針を踏まえるとともに、地域の特性や声を反映したよりきめの細かい「まちづくり方針」を示しています。

地域別まちづくり方針の作成にあたっては、各種アンケート調査結果や、平成19年2月に都市計画マスタープラン策定委員会地域別会議から提出された「地域まちづくりの提案」などの市民意見を計画に反映しています。

- 地域特性を踏まえたきめの細やかな身近な地域のまちづくり方針です。
- 住民の意向を反映した地域の将来像や方向性をわかりやすく示します。
- 全体構想の考えをより詳細に表現し、地域からの発想を示します。

- ◆地域別まちづくり方針では、特性と課題、将来像と目標、まちづくりの方針の段階毎に、市民の主な意向や提案を囲みや記述の中に整理し記載しています。
- ◆各地区の末尾に、〈参考〉として、地域別会議による「地域まちづくりの提案」を掲載しています。

地域区分について

地域区分については、現在の生活圏を基本に、町村合併の経緯や地域のまとまりなどを考慮して、右図に示すように4つの地域に区分しています。

山梨地域については、笛吹川東地域と笛吹川西地域に区分しています。



1. 笛吹川東地域

■位置

- 笛吹川東地域は、山梨市の南東部に位置し、東部は甲州市、南部は笛吹市に隣接しています。面積は 13.99km² で、本市の約 5% を占めています。
- 西部に笛吹川、南部に日川、地区を横断する重川などの河川があり、農地と市街地が笛吹川左岸の平坦地に開けた地域となっています。
- 本市の中心市街地を形成しており、JR 中央本線山梨市駅、東山梨駅の立地など、市の玄関口となる地域特性を有しています。
- 中央自動車道一宮御坂 IC、勝沼 IC と国道 20 号に近接し、地域西側に近接して西関東連絡道路や国道 140 号が、南部を国道 411 号が通るなど、利便性の高い交通の要衝となっています。



(1) 地域の特性と課題

【地域の特性】

- 本市で最も人口が集中している地域で、市街地の多くはDID地区となっています。

笛吹川東地域の人口・世帯数は、国勢調査によると平成 27 年 10 月現在、20,896 人、7,769 世帯で、本市人口の約 60% を占め、市街地の多くはDID地区となっています。

近年、人口は緩やかに減少していますが、世帯数は増加傾向にあります。

- 都市機能が集積する本市の中心地であり、計画的な市街地整備が進められています。

山梨市駅周辺は、主要な公共施設や商業業務施設等の都市機能が集積する本市の中心拠点が形成されています。周辺では土地区画整理事業が完了し、橋上駅舎や自由通路、駅北口駅前広場、市役所周辺の整備をはじめ、計画的な市街地整備が進められています。一方、(通称)南反保地域、旧市役所や大規模工場の跡地などの整備検討が必要となっています。

- 都市的土地利用と農業利用が共生した地域です。

地域全域が都市計画区域に指定され、山梨市駅周辺の既成市街地を中心に立地適正化計画の誘導区域が指定されています。一方、市街地郊外部には桃やぶどうなどの樹園地が広がり、住宅地と樹園地が混在する土地利用となっており、地域の景観を特徴づけています。

- 鉄道駅や主要な幹線道路が集中し、交通の要衝となっています。

JR 山梨市駅や東山梨駅が立地しているほか、西関東自動車道路、国道 140 号が近接し、国道 411 号や県道万力小屋敷線、山梨市停車場線、市之蔵山梨線などの幹線道路が集中し、交通の要衝となっています。

- 笛吹川、重川、日川の三川合流地域にあり、豊かな自然・水辺空間に囲まれています。

本地域は笛吹川、重川、日川の三つの河川が合流する地域にあり、豊かな自然・水辺空間に囲まれています。また、地形的にも水害(治水)との永い戦いの歴史を有しています。

- 本市を代表する歴史文化的資源が分布しています。

地域には国宝清白寺仏殿や連方屋敷など本市を代表する文化財が所在しています。

【まちづくりの課題】

●中心市街地にふさわしい都市機能の強化、魅力や活力の向上が必要です。

山梨市駅前土地区画整理事業が完了し、駅舎や駅北口広場、市役所周辺の整備が進められており、今後は駅南口の整備や副次拠点に位置づけられている（通称）南反保地域、地区拠点に位置づけられている東山梨駅周辺の整備が課題となっています。

また、（都）山梨市駅南線沿道や小原の商店街などの活力が低下しており、中心市街地の都市機能の強化、まちの魅力づくりや活力の向上が課題となっています。

●交通の要衝にふさわしい交通拠点の整備や幹線道路網の強化が必要です。

本地域は中央自動車道一宮御坂IC、勝沼IC、西関東連絡道路に近接しており、また、JR中央本線山梨市駅や東山梨駅が立地していることから、交通の要衝にふさわしい交通拠点の整備や幹線道路網の強化が課題です。

●良好な樹園地の保全など、都市と農村が共生する計画的な土地利用が必要です。

市街地周辺の農業集落地域においては宅地化が進行しており、宅地と樹園地の混在、休耕地・遊休農地の増加など、樹園集落地の計画的な土地利用を図ることが課題です。

●水害などの防災性を高めるとともに、安全快適に住まえる身近な住環境の改善が必要です。

本地域は、笛吹川、重川、日川の三川合流地域で水害との永い戦いの歴史を有していること、市街地については比較的建物が密集していることなどから、水害対策や地震・火災等の防災対策の強化が課題です。

●自然や景観、歴史文化的な遺産など、地域資源の保全とまちづくりへの活用が必要です。

地域内には3つの河川の豊かな水辺空間、日本遺産・日本農業遺産に認定された一面に広がる果樹の風景、国宝清白寺仏殿や連方屋敷などの文化財など、数多くの地域資源が分布しています。こうした地域の財産である資源を保全するとともに、どのようにまちづくりに活用していくかが課題です。

◆地域別会議における地域の特性・問題点（平成18年度に実施）

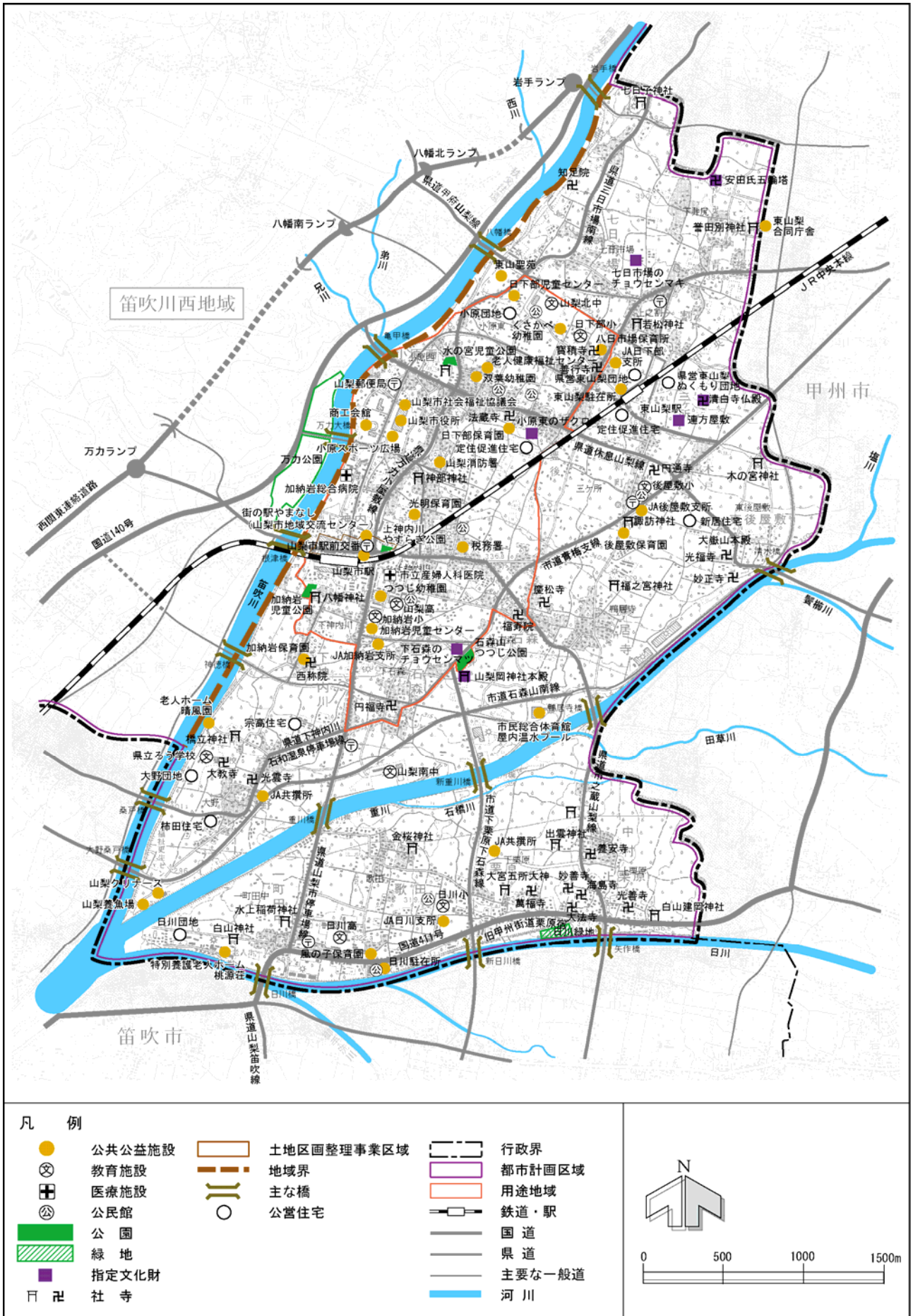
◇良いところ

- ・ 国宝清白寺仏殿・連方屋敷／郷土の身近な風景（道祖神など）
- ・ 優良農地／文教のまち・多くの学校
- ・ 中央自動車道とのアクセス／JRと2つの駅の存在／ハナミズキ通り
- ・ 人口の増加

◇問題なところ

- ・ 歩行者・通学路の安全性／駅前広場の工夫
- ・ 大工場跡地／小原の商店街の停滞／若者が集まる商店街／新旧の地域コミュニティ不足
- ・ 優良農地の保護／住宅と農地の混在
- ・ 下水道の接続／重川合流部の浸水／河川内雑木

■ 笛吹川東地域の現況特性図



(2)地域の将来像とまちづくりの目標

<将来像>

“安心・安全・活力” フルーツに囲まれた文化の香りあるまち

<基本理念と目標>

親が子どもに“このまちに住もうね”といえるようなまちづくりを進める

- ◆安心・安全なまちづくり
- ◆活力のあるまちづくり
- ◆ふるさとの自然や歴史・文化を大切にするまちづくり

<まちづくりの方針>

1)まちの中心部の整備・活性化など若者などをひきつける元気なまちづくりを進めます

中心拠点（中心市街地）の再生・活性化は本市の重要な課題のひとつです。「山梨市立地適正化計画」との整合を図りつつ、山梨市駅周辺を中心市街地や副次拠点（通称）南反保地域の整備・活性化、地域資源を活用した観光交流拠点づくりなどを進め、若者など多くの人をひきつける、市の顔・玄関口にふさわしい元気な賑わいある中心市街地づくりを進めます。

2)農地を守る秩序ある土地利用の誘導を進めます

フルーツのまちの玄関口にあたる本地域は、平坦地にぶどうや桃などの潤いある樹園地が広がっています。この営農環境と住環境、地域の景観を守るため、「山梨市立地適正化計画」との整合を図りつつ、樹園集落地の計画的な土地利用の推進と農村景観の維持・向上、計画的な市街地整備の促進、また、樹園環境共生地の形成など市街地周辺の適正な土地利用の誘導などを進め、農地を守る秩序ある土地利用を進めます。

3)骨格となる道路網づくりと中央自動車道 IC へのアクセスの向上を図ります

中央自動車道一宮御坂 IC、勝沼 IC と国道 20 号に近接し、西関東連絡道路や国道 140 号に至近で、山梨市駅や幹線道路が集中するなど市の玄関口、交通要衝地となっています。

今後、新山梨環状道路（東部・北部区間）の整備に併せて、骨格となる幹線道路網や山梨市駅等の交通拠点の整備・強化を図ります。

4)ふるさとの自然や景観を守り・生かします

うるおいある水辺空間に広がる果樹郷の風景や、国宝清白寺仏殿・連方屋敷など優れた歴史文化資源があります。今後、歴史文化的景観の保全と特色ある資源を生かした拠点づくりや中心市街地の顔づくりなどを推進し、多くの資源を継承するふるさとの自然や景観を守り・生かすまちづくりを進めます。

5)誰もが安全・安心、快適に住み続けられるまちづくりを進めます

まちの玄関口となる地域は、住む人や集う人など多くの人々の利便性や快適性を高める環境づくりが必要です。今後、バリアフリー基本構想に基づくバリアフリー整備の推進など人にやさしいまちづくり、治水対策や地震・火災に対する安全性の向上、定住を促す良質な住まいづくりの推進など、誰もが安全・安心、快適に住み続けられるまちづくりを進めます。

(3) 地域まちづくり方針

1) まちの中心部の整備・活性化など、若者などをひきつける元気なまちづくりを進めます

JR 山梨市駅周辺は主要な都市機能が集積する中心市街地を形成しており、現在駅周辺の整備が進められています。

しかし、本市の中心として発展を支えてきた本地域は、基幹産業である農業をはじめ、工業・商業などの産業が伸び悩み、地域活力が低下しています。

今後、「山梨市立地適正化計画」との整合を図りつつ、山梨市駅南口周辺や既存商店街など中心市街地の整備・活性化、(通称)南反保地域などの都市拠点の整備・育成を推進するとともに、地域資源を活用したまちづくりを進め、中心市街地の活力を高めていきます。

<中心拠点（中心市街地）・副次拠点の整備・活性化>

●中心市街地の整備

- ・山梨市駅南口及び南地域周辺の整備推進
(駅南口の開設、駅舎の橋上化、南北自由通路、南口交通広場の整備等)
- ・大規模工場との共存を含めたまちづくり活用方策の検討
- ・大規模工場跡地の有効利用の検討
- ・旧市役所跡地の活用方策の検討



・中心部のまちなみ

●副次拠点の整備

- ・中心拠点を補完する副次拠点の整備 ((通称) 南反保地域)

●歩いて楽しい歩行空間の整備と魅力づくり

- ・(都) 山梨市駅東山梨線の魅力づくり (施設のグレードアップ、電線の地中化など)
- ・(都) 山梨市駅南線、(都) 加納岩小学校西通り線、(都) 加納岩小学校前通り線の連携による回遊性のある歩行者ルートの整備
- ・県道山梨市停車場線の環境整備の促進など

●商店街の活性化

- ・既存商店街の魅力づくりと活性化 ((都) 山梨市駅南線沿道、小原の商店街など)
- ・若者が集まる魅力ある新たな店舗や商業施設などの集積促進
- ・農業生産者、ワイン加工業者、商店・飲食店などが連携した魅力的な商店街づくり
- ・テーマを特化した商店街づくり (エコ、地産地消、コミュニティ商店街など)
- ・万力公園「万葉の森」と笛吹川親水空間が一体となった「自然と歴史のふれあいゾーン」の検討
- ・観光客の増加をめざした観光機能の強化 (観光情報機能、物産品販売の充実など)
- ・空店舗バンク制度の有効活用 (チャレンジショップなど)
- ・統一感のあるまちなみ景観の計画的な誘導
- ・共同店舗やパティオ事業などの拠点づくりへの支援・誘導
- ・観光まちづくりと連携した各種イベントの開催
(農産物などの朝市、定期的な音楽イベントなど)



・小原の商店街

<その他の整備・活性化>

- 多様な都市拠点の整備・育成
 - ・地区拠点の整備・育成（東山梨駅周辺）
 - ・コミュニティ拠点の育成（後屋敷地区、日川地区）
- 特色ある歴史資源を生かした観光拠点づくり
 - ・清白寺・連方屋敷周辺のアクセス道路整備など
- 観光基盤の整備充実
 - ・（仮称）ふるさと歴史の散歩道づくり、水辺の散歩道づくりなどの散策ルートの設定
- かわまちづくり計画（ミズベリング）の推進
- 基幹産業である農業の振興・活性化の推進
 - ・後継者・担い手の育成、農業生産基盤の充実、農産物販売力の強化、都市と農村の交流拡大など
- 観光ブランドづくりの推進
 - ・観光農業との連携やおいしさ再発見など
- 若年層の雇用を促す新たな産業おこしの推進
 - ・観光まちづくりの推進による新たな地域産業の創出など

2) 農地を守る秩序ある土地利用の誘導を進めます

笛吹川、重川、日川の水辺から平坦地に広がるぶどうや桃の樹園地は、生産基盤としてだけでなく、フルーツのまちの玄関口にあたる美しい農村景観を形成していますが、今日、農業の後継者不足など、農業を取り巻く環境は厳しく、また、耕作放棄地の増加など営農環境や住環境、地域の景観など様々な面で問題を抱えています。

そのため、「山梨市立地適正化計画」との整合を図りつつ、次のように計画的な市街地整備や土地利用を推進し、樹園と住宅などが共生する良好な地域環境の形成を図ります。

- 農村景観の維持・向上
 - ・農地の保全と美しい農村景観の維持・保全（下神内川、大野、七日市場、下栗原、上栗原、中村、歌田、一町田中周辺など）
 - ・日本農業遺産の保全と活用
 - ・集落地の住環境の改善・向上
 - ・遊休農地対策の推進と有効活用方策の検討
 - ・都市と農村の交流促進など
- 計画的な市街地整備の促進
 - ・副次拠点の適正な市街地整備の促進（（通称）南反保地域等）
 - ・市街地（用途地域）内農地の利用転換の促進、農地の有効活用の促進
 - ・地区計画等を活用した計画的なまちづくりの誘導
 - ・現行用途地域の見直し検討（東山梨駅周辺、（通称）南反保地域周辺、市役所周辺など）
- 市街地周辺の適正な土地利用の誘導（樹園環境共生地の形成）
 - ・地域特性を考慮した一定のルールに基づく計画的な宅地化の誘導



・東山梨駅周辺

3) 骨格となる道路網づくりと中央自動車道 IC へのアクセスの向上を図ります

山梨市駅は橋上駅舎が完成し、南北自由通路及び南口周辺整備等が進んでいます。また、本地域は中央自動車道 IC と国道 20 号に近接し、西関東連絡道路や国道 140 号に至近な市の玄関口、交通要衝地となっています。今後、広域からのアクセス条件が向上することから、高規格道路へのアクセスの強化をはじめ、本市の玄関口としてふさわしい幹線道路網や交通拠点の機能強化を図ります。

●都市環状道路の整備促進

- ・国道 140 号と放射道路との連携、郊外地域を連携する環状道路など

●市街地環状道路の整備促進

- ・鉄道分断や駅周辺への集中を緩和する市街地外郭の環状道路整備

●中央自動車道一宮御坂 IC、勝沼 IC や周辺都市に連絡する放射状道路の強化

- ・放射道路 1 の整備促進（一宮御坂 IC との連絡強化—（都）山梨市駅南線の整備、県道山梨市停車場線の機能強化）
- ・放射道路 2 の整備促進（勝沼市街地との連絡強化—県道市之蔵山梨線の機能強化）
- ・放射道路 3 の整備促進（塩山市街地との連絡強化—（都）山梨市駅東山梨線未整備区間の整備推進と甲州市と連携した延伸の検討）

●中心市街地の景観整備と魅力づくり

- ・シンボル道路化（（都）山梨市駅東山梨線、（都）山梨市駅南線など）

●交通拠点の整備・強化

- ・山梨市駅南口の交通拠点機能の強化（南北自由通路の整備、南口交通広場の整備など）
- ・東山梨駅の機能強化（交通広場の整備、東山梨跨線橋の整備など）

●（都）市役所前通り線の整備促進

●「山梨市長期道路網整備計画」に基づく都市計画道路網の見直し検討

●地域連絡道路の改良・改善

- ・県道三日市場南線、県道休息山梨線、市道青梅支線、市道下栗原下石森線など

●公共交通の利便性の向上

- ・中心部と郊外部を結ぶ公共交通ネットワークの形成（コミュニティバスなど）
- ・パークアンドライドの導入検討

●生活道路の整備と道路環境の向上と適切な維持管理

●中心市街地の歩いて楽しい歩行者空間の整備

- ・（都）山梨市駅東山梨線の歩行者空間の魅力づくり

●歩道の設置など交通安全対策の充実

- ・県道山梨市停車場線などの主要道路



・放射道路（県道市之蔵山梨線）



・放射道路（（都）山梨市駅東山梨線）

4) ふるさとの自然や景観を守り・生かします

山梨市は全体的に緑豊かなまちであり、本地域においても、笛吹川、重川、日川の水辺空間や樹園地、雑木林、屋敷林なども緑に囲まれ、自然環境に恵まれています。また、国宝清白寺仏殿などの優れた歴史文化資源が分布し、地域の大きな特色となっています。

こうした地域資源の保全を図るとともに、これらを生かしたまちづくりを進め、うるおいと風格ある顔づくりを進めていきます。

- 水環境の保全・回復と水辺の緑の保全と活用
 - ・生態系の保全・回復と用水路の流水・水環境の維持
- 自然や環境に配慮し、省エネ・リサイクルなど循環型社会をめざす環境にやさしいまちづくりの推進
- 持続可能なまちづくり
 - ・モーダルシフト、自然エネルギーの活用など
- 市街地内農地（樹園）の緑の保全と活用
- 都市公園の充実・整備の促進による水と緑の拠点づくり
 - ・笛吹川の親水利用の促進
- 歴史文化的景観の保全とまちづくりへの活用
 - ・清白寺・連方屋敷周辺、葡萄畑など
- 観光レクリエーション拠点の景観向上
 - ・石森山つつじ公園
- 中心拠点（中心市街地）の顔づくり
 - ・山梨市駅南地域や市役所周辺の景観整備、既存商店街の景観形成の促進
- その他の都市拠点の魅力づくり（(通称)南反保地域、東山梨駅周辺など）
- 山梨市駅南地域の樹園と笛吹川河川空間が織りなす良好な樹園景観の保全
- 地域主導による散歩道づくりの推進
 - ・ふるさと歴史の散歩道づくり、水辺の散歩道づくり
- 景観拠点、景観資源を結ぶ景観ネットワークの形成
 - ・自転車道の充実・整備（日川）
- 旧青梅街道など歴史的なまちなみの形成
- 幹線道路の緑化推進による緑のネットワークづくり
- 地域の特色ある身近な緑の保全と屋敷林や社寺林など身近な雑木林の保全と活用
- 暮らしに根付いた景観資源の保全と活用
 - ・道祖神、祠、古道、小川など身近な景観資源や伝統行事など
- 市民参加による緑化の推進と緑地の適切な維持管理、景観づくりの推進



・ 国宝清白寺仏殿



・ 石森山つつじ公園



・ 七日市場の丸石道祖神

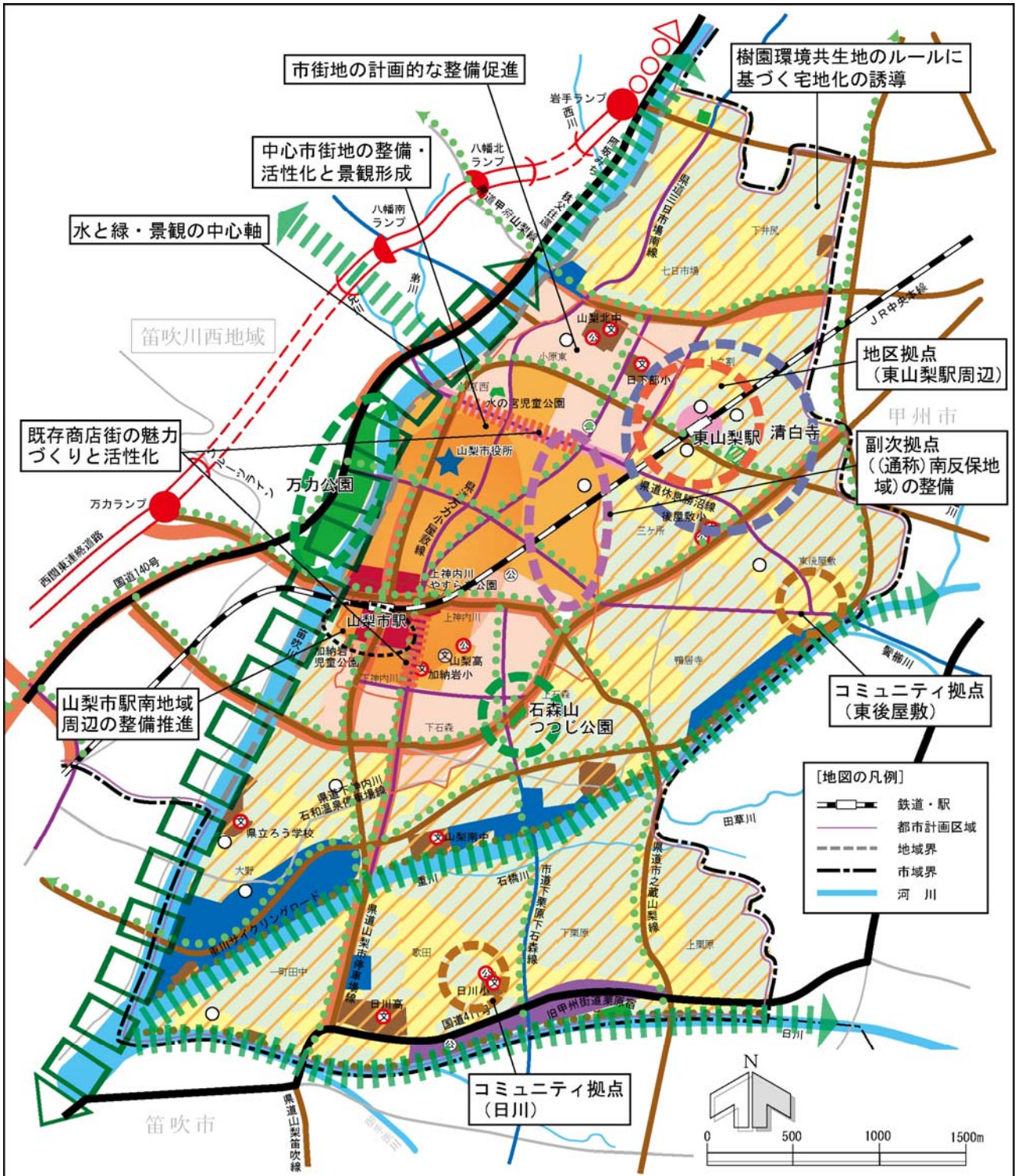
5) 誰もが安全・安心、快適に住み続けられるまちづくりを進めます

市街地や集落地内では狭隘道路や行き止まり道路もみられ、身近な生活道路や公園・広場が不足するなど生活基盤施設の改善が課題です。また、笛吹川、重川、日川の合流地域は治水安全対策の強化が必要となっています。

そのため、防災対策や身近な生活環境の整備充実を図り、誰もが安全・安心、快適に住み続けられるまちづくりを進め、地域への定住促進を図ります。

- 公共施設などのバリアフリー化の推進
 - ・ バリアフリー基本構想に基づく、鉄道や駅などの公共交通、駅前広場や道路・歩行者空間、公園緑地、多くの市民が利用する公共施設や民間建築物のバリアフリー化の推進
- 福祉施策と連携した環境づくりなど人にやさしいまちづくりの推進
 - ・ 医療施設や福祉施設の充実など
- 治水対策や地震・火災に対する安全性の向上
 - ・ 笛吹川・重川・日川三川合流地域等の浸水想定に対する治水対策の推進
 - ・ 狭隘道路や行き止まり道路の解消、消防活動困難区域の解消、避難ルートの確保、老朽建物の建て替え促進、建物の不燃化、耐震化の促進など
- 安全・安心な防災まちづくりの推進
 - ・ 市役所庁舎及び小原スポーツ広場の防災拠点としての機能充実
 - ・ 指定避難所、福祉避難所等の機能強化・施設の充実
- 生活道路や交通環境の整備・充実
 - ・ 市街地生活道路の整備、防災上問題のある狭隘道路、行き止まり道路の改善、歩道の設置（県道山梨市停車場線などの主要道路）、危険性の高い交差点の改善、通学路の安全対策の強化など
- 市街地の公園・広場の整備・充実
- 公共下水道地域（市街地周辺等）の下水道加入の促進
- 「山梨市公共施設等総合管理計画」に基づく公共施設の適切な管理の促進
- 防犯まちづくりの推進
 - ・ 防犯灯の設置促進、地域ぐるみの防犯体制づくりなど
- 定住を促す良質な住まいづくりの推進
 - ・ 良質な住宅地の供給（ルールに基づく計画的かつ適正な宅地化の誘導、計画的な市街地整備の促進）
 - ・ 定住を促す魅力ある住宅の供給（山梨市駅周辺への居住促進、公的住宅の供給、高齢者・障害者等に配慮した住まいづくり、若者をひきつける個性ある住まいづくり）
 - ・ 定住促進の支援（情報提供・相談体制の強化、公的支援の充実など）
 - ・ 日本版CCRCの検討推進
- 地域コミュニティの活性化の推進
 - ・ 神社お祭りの復活など

■まちづくり方針図(笛吹川東地域)



[施策の凡例]

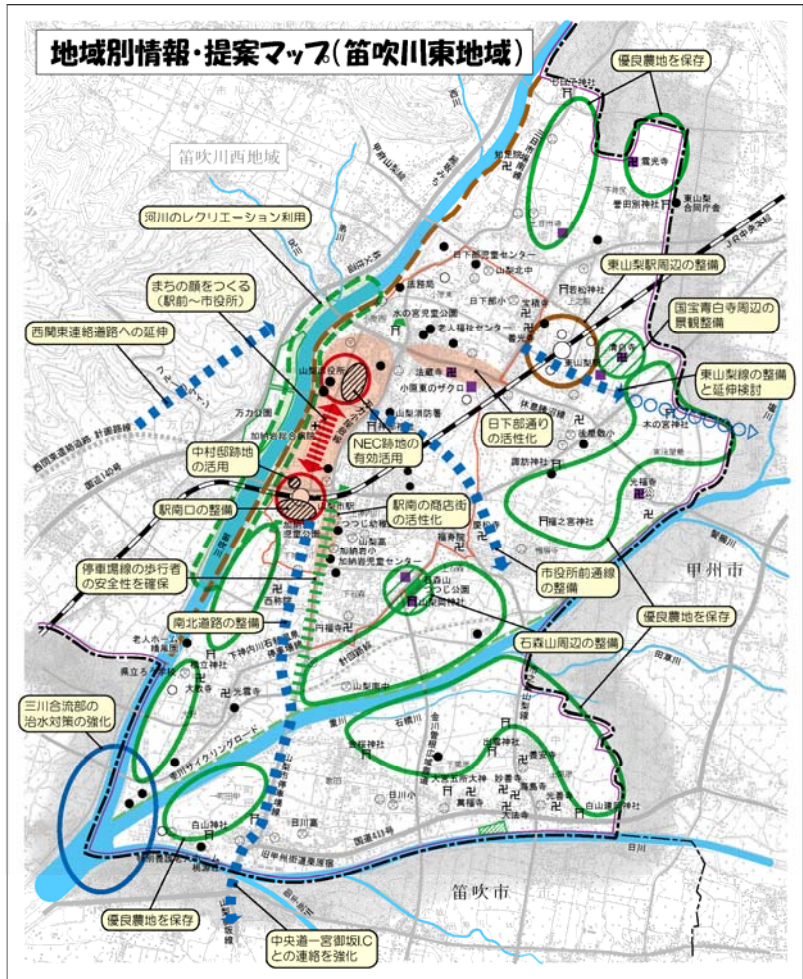
- | | | | |
|--|---|---|--|
| <p>〈土地利用〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 低層住宅地 複合市街地 樹園環境共生地 樹園集落地 中心商業業務地 近隣商業サービス地 沿道サービス地 交流施設等誘導地 生産業務地 樹園地 公園緑地(既設) 公園緑地(拡充・新設) 主要公共施設 | <p>〈道路・交通〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 高規格道路 広域幹線道路 主要幹線道路 幹線道路・補助幹線道路 主な地域幹線道路 その他の主要道路 | <p>〈その他〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 副次拠点 地区拠点 コミュニティ拠点 観光レクリエーション拠点 歴史・文化的景観の保全 緑と景観の中心軸 緑と景観のネットワーク 自転車道 美しい農村景観の保全 | <ul style="list-style-type: none"> ⊙ 学校 ⊗ 公民館・集会所 ○ 指定避難所 ○ 公営住宅 |
|--|---|---|--|

〈参考〉地域まちづくりの提案(策定委員会地域別会議より)

■まちづくりフィッシュボーン



■地域別情報・提案マップ



2. 笛吹川西地域

■位置

- 笛吹川西地域は、山梨市の南西部に位置し、西部は甲府市、南部は笛吹市に隣接しています。面積は39.12km²で、本市の約13%を占めています。
- 耕地や集落地は、笛吹川、兄川、弟川などの河川沿いや道路沿いに点在し、北西部は帯那山などの山岳・森林地域となっています。
- 豊かな自然環境を背景に、旧街道に点在する歴史文化資源と、笛吹川フルーツ公園、万力公園・市民会館の立地など、穏やかな集落環境と利便性の高い市街地環境という地域特性を有しています。
- 地域東部を西関東連絡道路や国道140号が縦貫し、また、JR中央本線が地域南端部を東西に横断しています。



(1) 地域の特性と課題

【地域の特性】

- 笛吹川東地域と並んで人口が多い地域で、人口は主に山梨地区に集中しています。

笛吹川西地域の人口・世帯数は、国勢調査によると平成27年10月現在8,842人、3,160世帯で、本市人口の約25%を占めています。東地域同様、近年、人口は緩やかに減少し、世帯数は増加傾向にあります。

- 国道140号・笛吹川周辺に市街地や主要な集落地が形成されています。

本地域の東部は都市計画区域が、国道140号周辺には用途地域が指定されており、まとまった市街地が形成され、各種公共施設も多く分布しています。

また、国道140号からフルーツライン周辺には集落地も多く分布しており、なだらかな斜面に沿いに果樹を中心とした農地が広く展開するなど、地域の景観を特徴づけています。

- 桃やぶどうの産地であり、優れた観光資源となっています。

本地域は桃やぶどうなど、全国有数の果物の産地であり、一面に広がる樹園の景観は日本遺産や日本農業遺産に認定されるなど、本市の誇る観光資源となっています。

- 西関東自動車道路や国道140号が地域の骨格を形成しています。

西関東自動車道路や国道140号をはじめ、山間集落地域を結ぶ県道甲府山梨線（八幡バイパス）、畑総38号線、山梨市街地を結ぶ県道市之蔵山梨線などが地域の骨格を形成しています。

- 豊かな自然資源が分布しています。

帯那山、八幡山、天狗山、霞森山や、笛吹川や兄川、弟川などの水辺、切差金比羅のヒノキ群など後背に森林が広がる豊かな自然資源が分布しています。また、市街地においても万力公園「万葉の森」周辺はアカマツの美林、笛吹川の親水空間、千鳥の生息地など、豊かな自然環境を有しています。

- 歴史文化的資源や観光資源が数多く分布しています。

本地域には窪八幡神社をはじめ、天神社、上野家住宅、清水寺、神宮寺、永昌院、根津記念館、などに所在する指定文化財が数多く分布しています。

また、新日本三大夜景であり、年間数十万人の観光客が訪れる笛吹川フルーツ公園をはじめ、集客力のある温泉施設も点在し、多くの人々が訪れる観光拠点となっています。

【まちづくりの課題】

●地域農業の振興や地域の活力の向上が必要です。

農業は本市の基幹産業であり地域の重要な産業で、近年はモモやブドウの価格上昇や人気の高いシャインマスカットの生産等により農業経営は向上しています。しかし一方で、後継者不足、休耕地・遊休農地の増加などが進んでおり、農業の振興・活性化を図る上で大きな課題となっています。今後はリニア中央新幹線の開業や新山梨環状道路（東部区間・北部区間）の開通等を見据え、観光とも連携した農業の振興・活性化が求められています。

●良好な樹園地の保全など、農業と共生する計画的な土地利用の誘導が必要です。

市街地や農業集落地域では宅地化が進行しており、住環境や営農環境の面でも課題となっており、農業と共生する計画的な土地利用の誘導が必要です。

●地域間の交流を支える道路網の強化が必要です。

整備が進められている西関東連絡道路と国道 140 号が東側を縦貫し、その他、山間集落地域を結ぶ県道甲府山梨線（八幡バイパス）、畑総 38 号線、中心拠点と結ぶ県道市之蔵山梨線などの幹線道路が地域の骨格を形成しています。

今後は、主要な県道の改善や地域内幹線道路網の機能の強化が課題です。

●身近な生活環境の改善・充実が必要です

市街地や集落地域については、水害や地震・火災等の防災性の向上をはじめ、生活道路や交通環境の改善、身近な公園や公共施設の充実、下水道や合併処理浄化槽の普及など、安全快適に住まえる身近な住環境の改善が課題です。

●良好な地域資源の保全とまちづくりへの活用が必要です。

本地域には、窪八幡神社をはじめとした歴史文化的資源をはじめ、丘陵地に広がる樹園の景観、新日本三大夜景に認定されている笛吹川フルーツ公園、やまなしフルーツ温泉ぷくぷく、万力公園「万葉の森」周辺のアカマツの美林、笛吹川の親水空間、千鳥の生息地、北部の帯那山、八幡山、天狗山、霞森山の自然など、良好な地域資源が数多く分布しています。

◆地域別会議における地域の特性・問題点（平成 18 年度に実施）

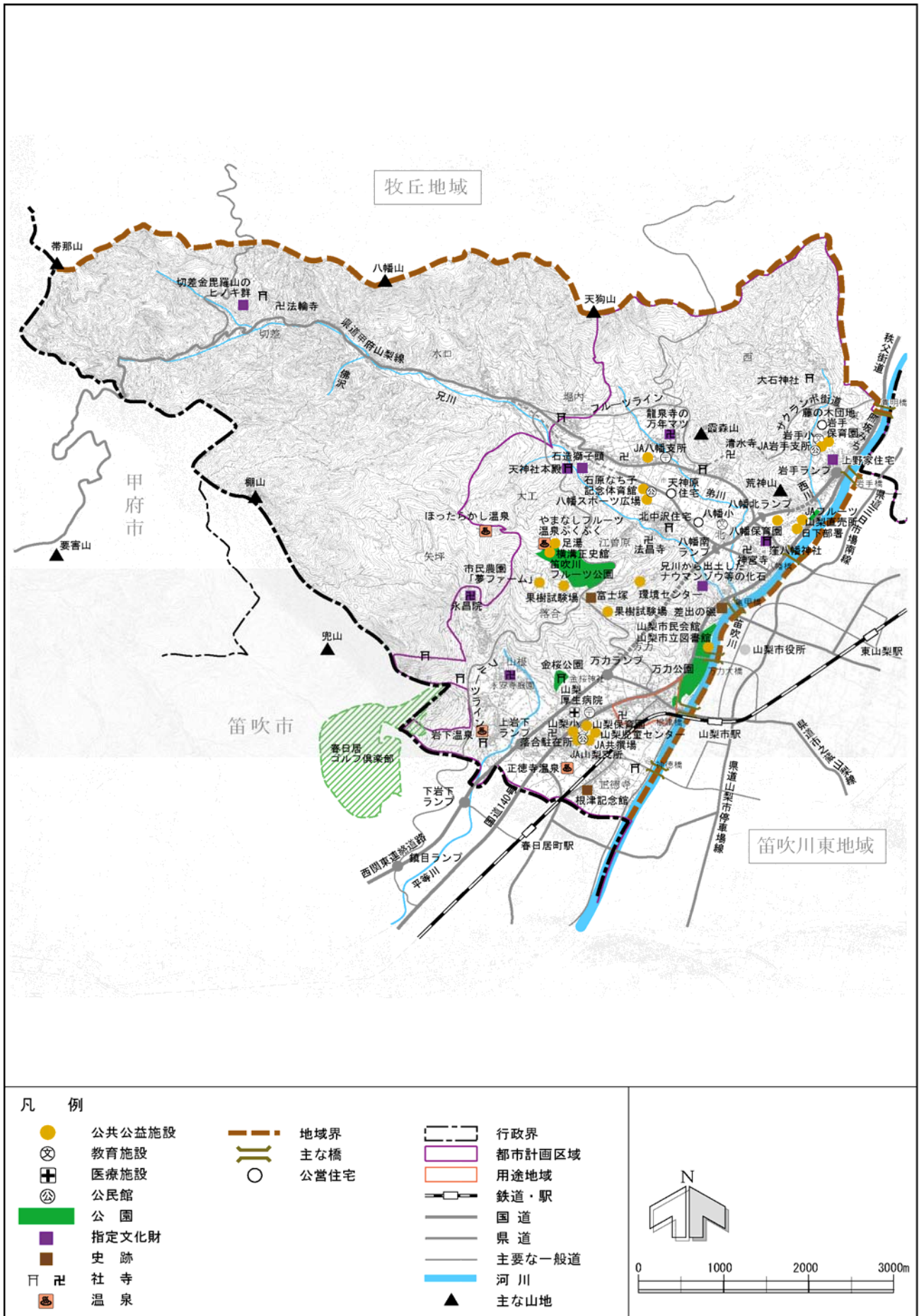
◇良いところ

- ・ 山と峠／良好な眺望／兄川のホタル
- ・ 歴史的資源／窪八幡神社／江曾原の民家／身近な資源が豊富（荒神山、根津記念館、万力公園など）
- ・ 昔のみちを生かす／昔ながらの地名

◇問題なところ

- ・ 計画的な道路整備／道路の延伸・連絡／みちがわかりにくい
- ・ 歴史的価値の顕在化／地域の象徴・名所不足
- ・ 笛吹川フルーツ公園と地域の関わり
- ・ 川の整備と生態系／水の汚染

■ 笛吹川西地域の現況特性図



(2)地域の将来像とまちづくりの目標

<将来像>

自然と歴史が融合した地域

<基本理念と目標> 自然と歴史が融合したまち

- ◆次世代につけを残さないようにしよう
- ◆暮らしやすさを支える道や施設を計画的に整備しよう
- ◆歴史・文化を生かしたまちづくり
- ◆環境の多面性を重視したきれいな森と水辺を守るまちづくり
- ◆今ある資源を生かす持続可能なまちづくり

<まちづくりの方針>

1)風土を代表する歴史文化や地域資源を生かしたちづくりを進めます

窪八幡神社の社殿群など本市の歴史文化を表す文化財が数多く集積しています。これら風土が育んだ歴史文化資源を継承し、歴史文化的景観の保全と特色ある歴史資源を生かした拠点づくりや景観資源のネットワーク化を進め、「山梨市ブランド」として積極的な活用を図る雅なまちづくりを進めます。

2)きれいな森と水辺を守り、生かすまちづくりを進めます

地域の西側には甲武信ユネスコエコパークのエリアを含む森林地帯が広がっています。また、本市の水と緑の拠点となる万力公園「万葉の森」や笛吹川フルーツ公園が整備されています。その他、兄川のホタル生息地も地域住民により大切に守られています。今後、地域制緑地の指定検討や自然環境に配慮したまちづくりを推進し、きれいな森と水辺を守り生かすまちづくりを進めます。

3)暮らしやすさを支える計画的なみちづくりを進めます

地域に係わる西関東連絡道路（岩手ランプまで）や地域環状道路（フルーツライン）については、概ね整備が完了しており、今後は、地域の骨格となっている県道や主要な生活道路、農道、林道などの改善整備、交通安全対策の充実を図り、暮らしやすさを支える計画的なみちづくりを進めます。

4)農業と共生し、元気で若者などが暮らしやすいまちづくりを進めます

本地域は農業を基幹産業とした地域であり、農業の振興、観光と連携した地域の活性化が求められています。

また、市街地の一部を形成しており、宅地化も進んでいることから農業と共生するまちづくりが求められています。今後、観光と連携したまちづくりの推進、多様な都市拠点の機能強化、農地の保全と計画的な土地利用の誘導などを進め、農業と共生し、元気で、若者などが暮らしやすいまちづくりを進めます

5)次世代へ伝える暮らしやすいまちづくりを進めます

都市化の進展に伴う地域環境の変化が懸念されます。今後、人にやさしいまちづくり、治山・治水対策や地震・火災に対する安全・安心なまちづくり、身近な住環境の整備・充実、定住を促す良質な住まいづくりの推進など、次世代へ伝える暮らしやすいまちづくりを進めます。

(3)地域まちづくり方針

1) 風土を代表する歴史文化や地域資源を生かしたまちづくりを進めます

窪八幡神社には、県下の重要文化財建造物のうち、室町期の神社建築の半数が集中しています。また、古今和歌集に詠まれ古来より歌の名所として名高い差出の磯、西保堰など先人達の治水・利水の知恵を今に伝える水防林や用水、風土が育んだ人々の生活様式や産業を伝える切妻民家群など、山梨市の歴史文化を特徴づける資源が数多く集積しています。これら風土を代表する景観を守り生かすため次のようなまちづくりを進め、このまちにしかない風格ある「山梨市ブランド」として積極的な活用を図ります。

- 山岳・森林や水辺などの自然景観や、美しい農村景観などふるさとを代表する良好な景観の保全と活用
- 笛吹川沿いに展開する一団の樹園景観の保全
 - ・ 日本農業遺産の保全と活用
- 新たな眺望点の整備や眺望域の景観コントロールなど優れた眺望景観の保全
 - ・ 太良峠、夕狩沢周辺など
- 良好な眺望場所の保全
 - ・ 新日本三大夜景（笛吹川フルーツ公園周辺）など
- 歴史文化的景観の保全と特色ある歴史資源を生かした観光拠点づくり
 - ・ 窪八幡神社周辺の歴史の顕在化と景観整備、万力公園「万葉の森」周辺、江曾原の切妻民家群とまちなみ、根津記念館周辺、上野家住宅、水口の棚田の保全など
- 観光レクリエーション拠点の景観向上
 - ・ 万力公園万葉の森、笛吹川フルーツ公園など
- 歴史的なまちなみの形成
 - ・ 秩父往還や窪八幡神社、江曾原の切妻民家群など
- 景観拠点や景観資源を結ぶ景観ネットワークの形成
 - ・ 秩父往還などの旧街道を活用した散策ルートなど
- 身近な景観資源や伝統行事など暮らしに根付いた景観資源の保全と活用
 - ・ 首地藏、西保堰、仏沢などの資源
- 温泉の活用
 - ・ やまなしフルーツ温泉ぶくぶくなど
- 風土の歴史を物語る地名の保全・継承
- 市民等の協働による景観づくりの推進



・ 窪八幡神社

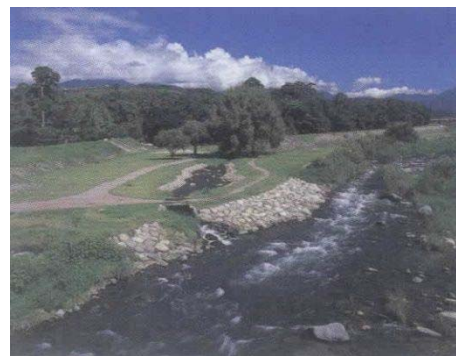


・ 江曾原の切妻民家群

2) きれいな森と水辺を守り、生かすまちづくりを進めます

地域の西側には甲武信ユネスコエコパークのエリアを含む森林地帯が広がっています。また、笛吹川の水辺と隣接した万力公園「万葉の森」、笛吹川フルーツ公園など大規模公園が整備されており、特に、万力公園「万葉の森」は老松生い茂る万力林、雁行堤、千鳥の生息地となるうおいある親水空間となっていますが、まちなかは緑が少ない状況です。その他、兄川はホタル生息地として地域住民が大切に守っていますが、河川への不法投棄や、兄川に沿う集落地内の身近な雑木林や森林の保全が課題です。そのため、次のような水と緑のまちづくりを推進し、美しい環境を継承していきます。

- 水環境の保全・回復と森林資源の保全と活用
 - ・森林セラピー事業など森林活用の健康づくりの場の整備
- 甲武信ユネスコエコパークの保全と活用
- ホタルなど貴重な動植物の自然生態系の保全と回復（兄川など）
- 自然や環境に配慮し、省エネ・リサイクルなど循環型社会をめざす環境にやさしいまちづくりの推進
- 持続可能なまちづくり
 - ・モーダルシフト、自然エネルギーの活用など
- 地域制緑地（緑地保全地域）の指定検討
 - ・笛吹川フルーツ公園周辺、霞森山、荒神山周辺など
- 集落地域を囲む里山の緑や農地（樹園）の緑の保全と活用
- かわまちづくり計画（ミズベリング）の推進
- 都市公園の充実・整備の促進による水と緑の拠点づくり
 - ・笛吹川フルーツ公園の充実
 - ・笛吹川の親水利用の促進（万力公園周辺、差出堰、差出の磯など）
- 史跡の活用による水と緑の拠点づくり
 - ・窪八幡神社周辺など
- 地域の特色ある身近な緑の保全と屋敷林や社寺林など身近な雑木林の保全と活用
- 幹線道路の緑化推進による緑のネットワークづくり
- 市民参加による緑化の推進と緑地の適切な維持管理の推進



・万力公園と笛吹川

3) 暮らしやすさを支える計画的なみちづくりを進めます

西関東連絡道路や地域環状道路(フルーツライン)などの骨格的な道路は概ね整備が完了していますが、西関東連絡道路の岩手ランプ以北区間の延伸]についても引き続き国や県に要請を図ります。その他、主要な生活道路、農道、林道の改善・整備、交通安全対策の充実を図ります。

- 西関東連絡道路の延伸促進
 - ・岩手ランプ以北区間の延伸要請（構想路線）
- 新たな地域連絡道路の整備
 - ・県道甲府山梨線八幡バイパス、畑総 38 号線
- 農地や山地の道路の改善・整備



・西関東連絡道路

- ・水ヶ森林道、山根周辺の農道など
- コミュニティバス運行ルートの再編検討
- 誰もが安心・快適に利用できる暮らしのみちづくりの推進
 - ・生活道路の改善・整備や交通安全対策の充実など

4) 農業と共生し、元気で若者などが暮らしやすいまちづくりを進めます

農業は本地域の基幹産業であり、農業の振興、観光と連携した地域の活性化が課題です。また、市街地や周辺の樹園集落地域における宅地化が進行し、土地利用や住環境、営農環境、地域景観への影響などが課題となっています。

そのため、次のようなまちづくりを進め、農業と共生し、元気で若者などが暮らしやすいまちづくりを進めます。

- 農地の保全、遊休農地対策の推進と有効活用方策の検討
- 市街地周辺の適正な土地利用の誘導
 - ・地域特性を考慮した一定のルールに基づく計画的な宅地化の誘導（立地適正化計画の推進、地区計画の活用など）
- 立地適正化計画と連携した多様な都市拠点の整備・育成
 - ・地区拠点の整備・育成（山梨厚生病院周辺）
 - ・コミュニティ拠点の育成（岩手地区、八幡地区）
- 農村工業団地等への企業誘致
- 観光基盤の充実
 - ・公共交通の利便性向上など
- 市民農園、観光農園やグリーンツーリズムの導入など都市と農村の交流促進
- 観光ブランドづくりの推進
 - ・観光農業との連携や遊休農地を活用した名所づくり、おいしさ再発見など
- 基幹産業である農業の振興・活性化の推進
 - ・後継者、担い手の育成、農業生産基盤の充実、農産物の販売力の強化、都市と農村の交流拡大など
- 若年層の雇用を促す新たな産業おこしの推進
 - ・観光まちづくりの推進による新たな地域産業の創出など
- フィールドミュージアム構想、文化財保存活用地域計画の推進



・斜面地に広がる果樹畑

5) 次世代へ伝える暮らしやすいまちづくりを進めます

交通環境の向上など、利便性の追求や都市化の進展に伴い様々な住環境の変化が想定されます。今後も誰もがこの暮らしの豊かさを享受できるよう、農と住が調和した地域環境づくりを推進し、次世代へ継承する暮らしやすいまちづくりを進めます。

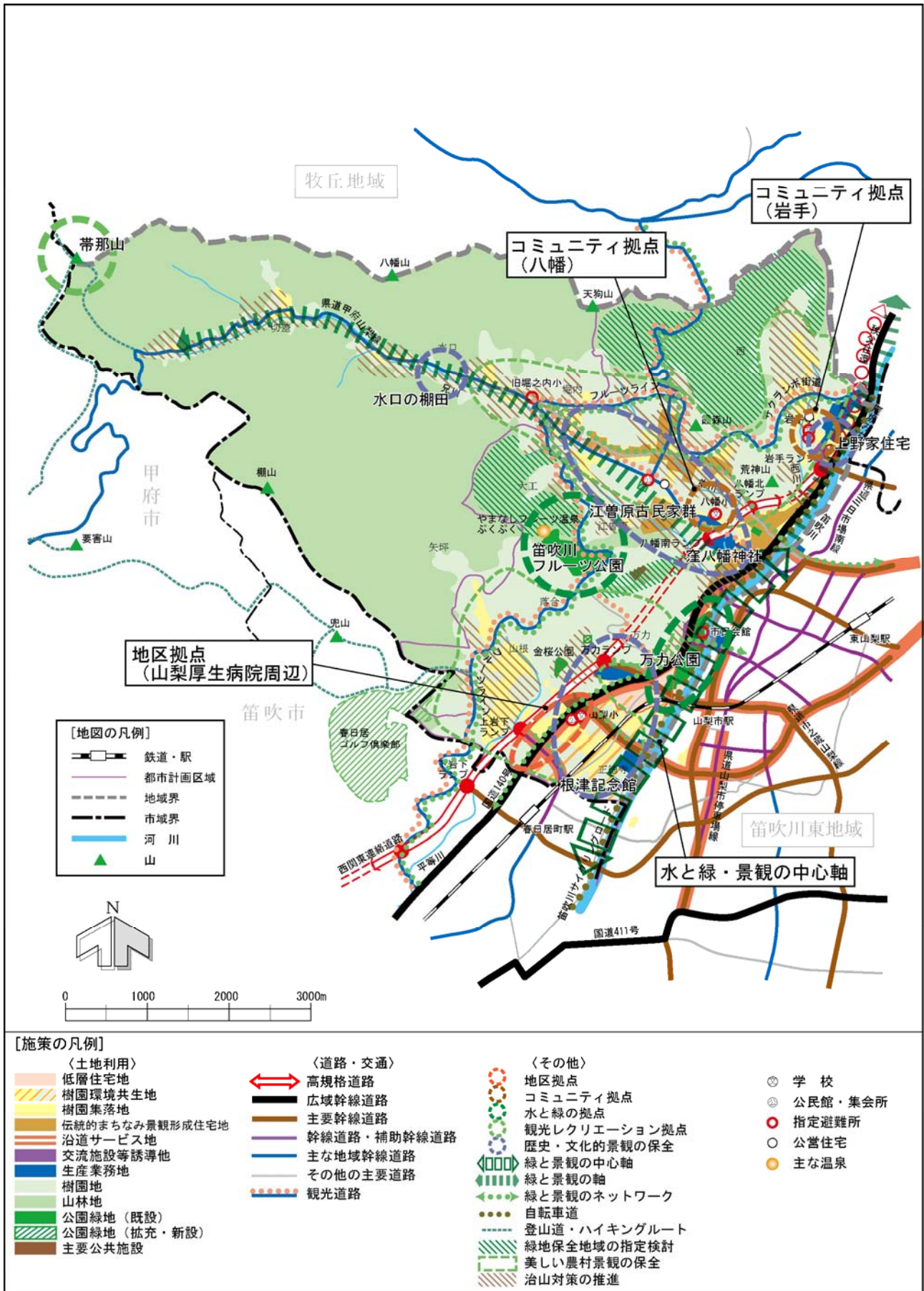
- 人にやさしいまちづくりの推進
 - ・公共施設のバリアフリー化や福祉施策と連携した環境づくり、子育て環境の充実とPRなど
- 安全・安心な防災まちづくりの推進

- ・ 治山・治水対策や地震・火災に対する安全性の向上
- ・ 指定避難所・福祉避難所の充実、その他の防災施設の充実・強化など
- 生活道路や交通環境の整備・充実
 - ・ 市街地生活道路の整備、集落地道路の改善・整備、危険性の高い交差点の改善、通学路の安全対策の強化など
- 身近な公園・広場の整備・充実
- 「山梨市公共施設等総合管理計画」に基づく公共施設の適切な管理の促進
- 公共下水道地域（市街地周辺等）の下水道加入の促進、公共下水道地域以外の地域（山間集落地域等）の合併処理浄化槽の普及促進
- 防犯まちづくりの推進
 - ・ 防犯灯の設置促進、地域ぐるみの防犯体制づくりなど
- 定住を促す良質な住まいづくりの推進
 - ・ 公的住宅の供給、2地域居住（マルチハビテーション）・田舎暮らしの促進、高齢者・障害者等に配慮した住まいづくり、若者をひきつける個性ある住まいづくり
- 新旧住民など地域コミュニティの活性化の推進



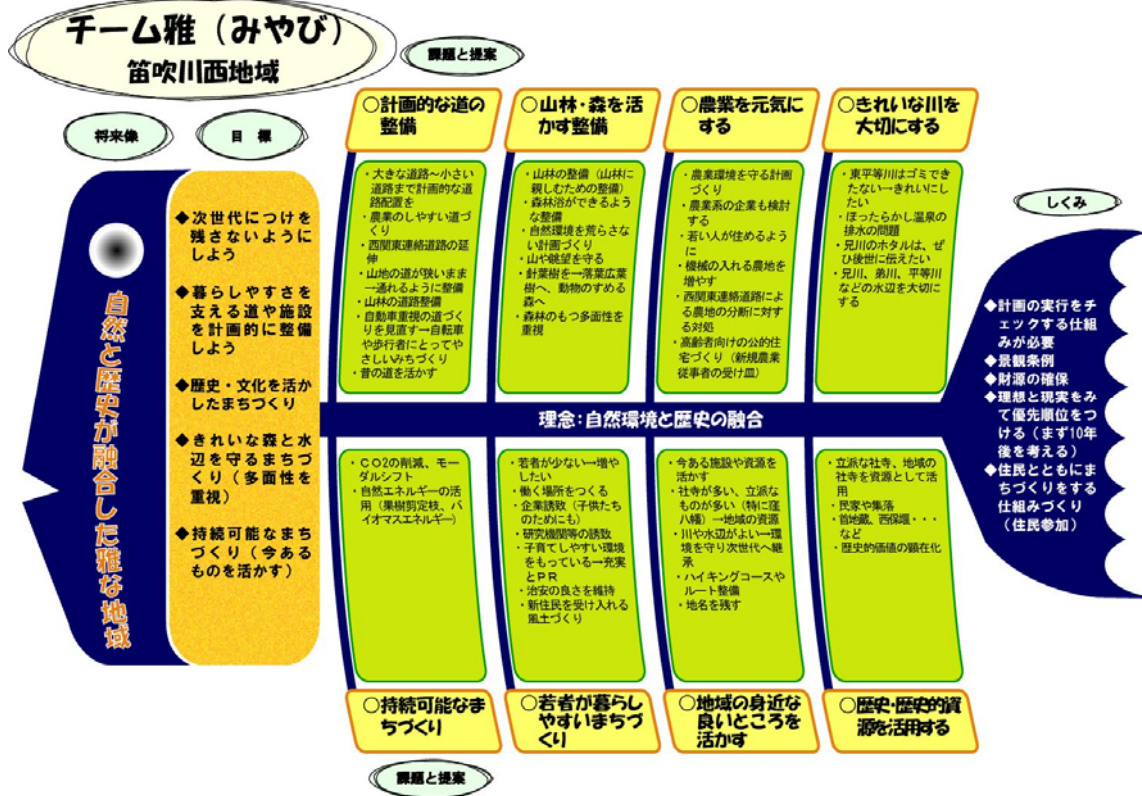
・ 根津記念館

■地域まちづくり方針図（笛吹川西地域）

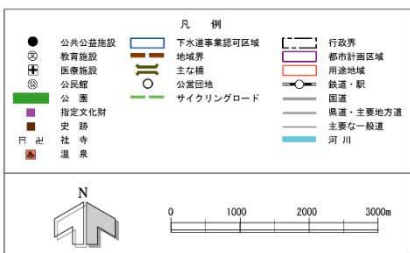


〈参考〉地域まちづくりの提案(策定委員会地域別会議より)

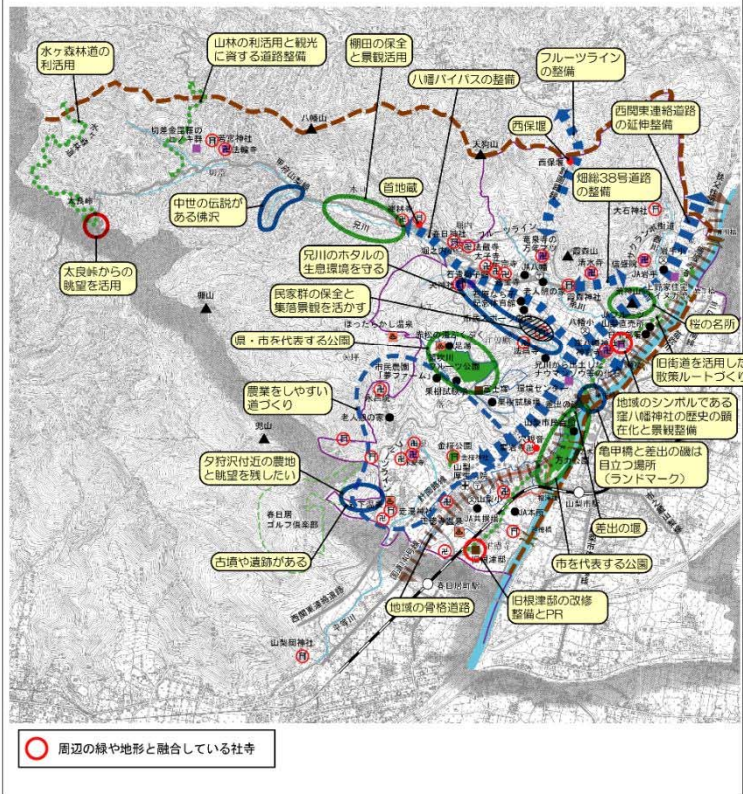
■まちづくりフィッシュボーン



■地域別情報・提案マップ



地域別情報・提案マップ(笛吹川西地域)



3. 牧丘地域

■位置

- 牧丘地域は、山梨市の北西部に位置し、地域の北部は長野県、西部は甲府市、南東部は甲州市に隣接した南北にやや長い四方を山に囲まれた地域です。面積は101.85km²で、本市の約35%を占めています。
- 地形は起伏のある傾斜地が多く、耕地や集落地は、鼓川、琴川、笛吹川の各流域沿いの南面の丘陵地帯に集中し、その周辺の標高420m～900mにかけて農地が分布しています。
- 豊かな自然環境を背景に、丘陵地の雄大な眺望と、巨峰の特産地など樹園景観と観光資源に恵まれた地域特性を有しています。
- 東部を縦貫する国道140号が基幹道路となっています。



(1) 地域の特性と課題

【地域の特性】

●人口・世帯数とも減少傾向にあります。

牧丘地域の人口・世帯数は、国勢調査によると平成27年10月現在、4,543人、1,705世帯で、本市人口の約13%を占めていますが、人口及び世帯数とも減少しています。特に、山間地域にあっては過疎化や少子高齢化が進行しています。

●本地域は8割が森林で、国道140号西側周辺に主要集落地や山間集落地が形成されています。

本地域は大部分が山岳・森林に囲まれ、地域の8割が森林となっています。

地域東部の国道140号周辺には窪平地区などのまとまった集落地が、丘陵地には農業集落地域が形成されています。斜面に沿いに果樹等の農地が広く分布しており、地域の景観を特徴づけています。

●国道140号を骨格に県道やフルーツラインが山間地域を連絡しています。

国道140号が東側を縦貫し、県道塩平窪平線と県道柳平塩山線、フルーツライン等が山間集落地域を、主要な林道が北部山岳森林地域を連絡しています。

●地域の中心となっている窪平地区に都市機能が集積していますが、活力が低下しています。

地域の中心となっている窪平地区には公共公益施設などの都市機能が集積していますが、近年は人口減少とともに空店舗の増加、既存商店街の停滞・空洞化が進んでいます。

●本地域は巨峰の産地として知られ、活発な農業が行われています

本地域は全国的に巨峰の産地として知られ、丘陵地帯には日本遺産や日本農業遺産に認定された果樹園が広く分布していますが、近年、農業者の高齢化、後継者不足、遊休農地・耕作放棄地の増加が進んでいます。

●特徴的な文化財が多く分布しています。

国指定文化財の中牧神社本殿をはじめ、室伏五輪塔、木造薬師如来像、笠石大明神本殿、西川家住宅、古宿遺跡、鍵懸関址、浄居寺城・小野田城、城下のシキザクラ、膝立の天王ザクラなどの歴史文化資源が数多く点在しています。

●北部の山岳森林地域は国立公園に指定されています。

北部の山岳森林地域一帯は、秩父多摩甲斐国立公園区域に、乙女高原や小檜山一帯は山梨県自然環境保全地区に指定されており、国師ヶ岳等の山、笛吹川などの水辺、丘陵地に展開する樹園の美しい景観と優れた眺望景観など、豊かな観光レクリエーション資源を有しています。

【まちづくりの課題】

●基幹産業である農業をはじめ、地域全体の活力の向上が必要です。

本地域は巨峰の郷と知られ、活発な農業が行われており、近年はモモやブドウの価格上昇や人気の高いシャインマスカットの生産等により農業経営は向上しています。しかし一方で、農業者の高齢化、後継者不足、休耕地・遊休農地の増加などが進行しており、農業の振興・活性化を図る上で大きな課題となっています。今後は観光と連携した農業の振興・活性化を図るとともに、地域の拠点となっている窪平地区周辺の活性化が求められています。

●良好な樹園地の保全など、計画的な土地利用の誘導が必要です。

集落地や農業集落地の一部では住宅と農地が混在しているところから、良好な樹園地については積極的に保全するなど、計画的な土地利用の誘導が必要です。

●地域間を結ぶ道路網の強化が必要です。

フルーツラインやクリスタルライン等の整備は進みましたが、今後は、地域間を連絡する道路網や集落間を連絡する主要な生活道路の整備、乙女高原や大弛峠へ向かう観光道路網の形成、バスなど公共交通の利便性の向上、災害時の交通遮断による集落の孤立化への対応（代替道路の確保）などが課題です。

●暮らしに身近な生活環境の改善・充実が必要です。

集落地や山間集落地域については、水害や崖崩れなど傾斜地形に即した防災性の向上をはじめ、生活道路や交通環境の改善、身近な公園や公共施設の充実、合併処理浄化槽の普及など、安全快適に住まえる身近な住環境の改善が課題です。

●優れた地域資源の保全と積極的なまちづくりへの活用が必要です。

本地域には、国指定文化財の中牧神社本殿などの歴史文化的資源をはじめ、巨峰の郷として知られる丘陵地の樹園景観、国師ヶ岳等の山々、乙女高原や小楯山、優れた富士山の眺望など、良好な地域資源・観光レクリエーション資源が数多く分布しています。

こうした貴重な地域資源を保全するとともに、どのようにまちづくりに活用していくかが課題です。

◆地域別会議における地域の特性・問題点（平成18年度に実施）

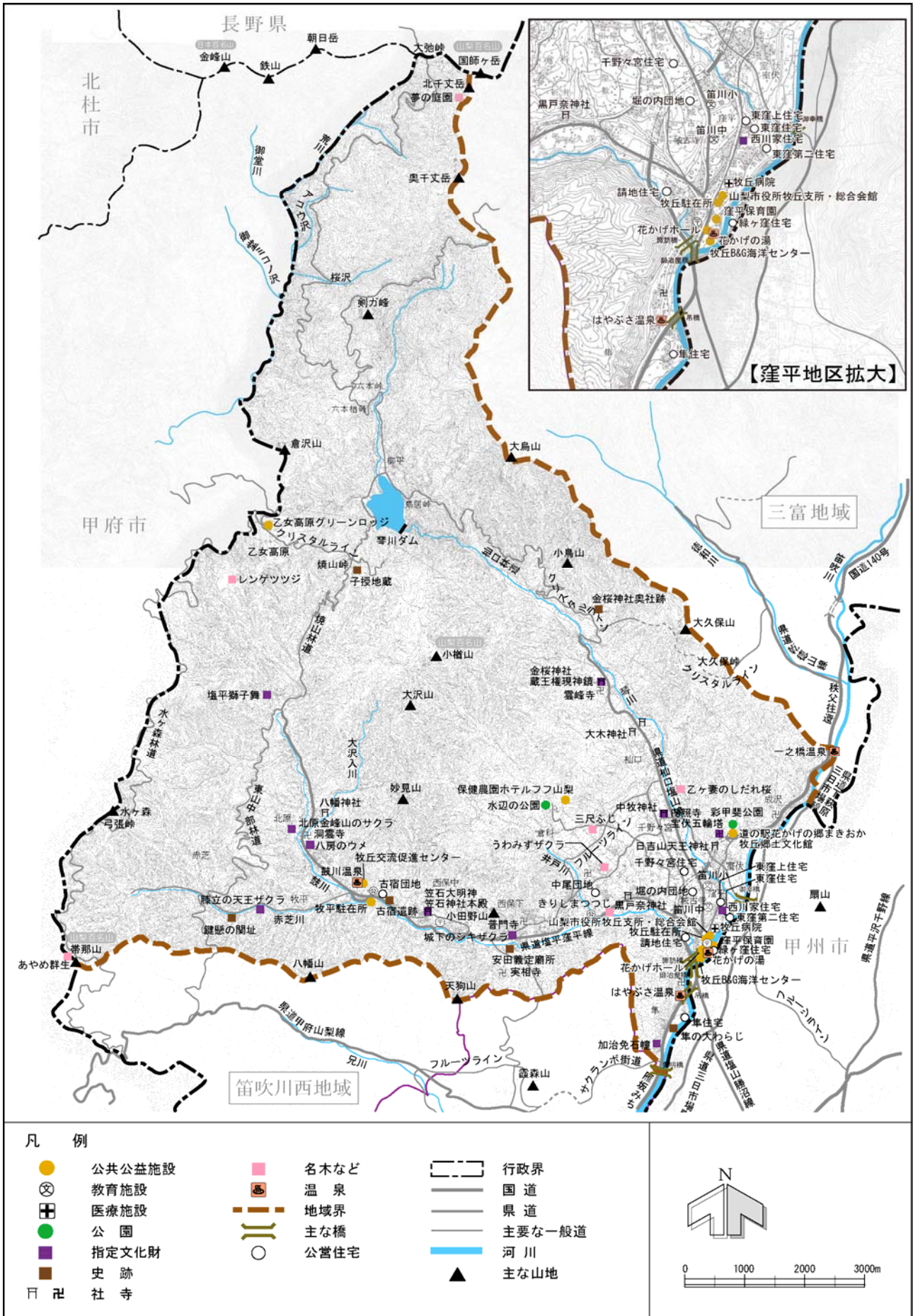
◇良いところ

- ・自然が豊か（乙女高原、河川、里山など）
- ・傾斜地の眺望景観／ハイキング／多くの名所
- ・歴史・文化財（甲州民家、金桜神社、小田野城址など）／地域のつながりが良い

◇問題なところ

- ・農業の問題（農業経営、耕作放棄地、後継者不足、鳥獣害被害 など）
- ・集客・活性化（観光資源の有効活用、ゴルフ場跡地、オーチャードヴィレッジ・フフの活用など）
- ・市街地の衰退／地域のつながりが衰退
- ・山林の利活用／災害時の集落の孤立化 など

■牧丘地域の現況特性図



(2)地域の将来像とまちづくりの目標

<将来像>

世代をこえて、笑顔でふれあえるまち

<基本理念と目標>

つなぐ・結ぶまち(施設と施設、人と人)

- ◆農業で生活できるまちづくり
- ◆自然・歴史・文化財を活用した名所づくり
- ◆地域で支え合うまちづくり

<まちづくりの方針>

1)農業やまちなかを元気にし笑顔でふれあうまちづくりを進めます

巨峰の郷として全国に名高く、古くから形成された窪平地区周辺のまちなみからなだらかな丘陵地を経て、北部の森林・山地へ続く変化に富んだ地形特性を有しています。

優良農地の保全や地域の中心となっている窪平地区周辺の整備・活性化、観光農業との連携や遊休農地を活用した名所づくりなどを進め、農業やまちなかを元気にし、笑顔でふれあうまちづくりを進めます。

2)豊かな自然を守り、多くの人が集い楽しむまちづくりを進めます

乙女湖や乙女高原、帯那山、大弛峠周辺などの豊かな自然環境を有し秩父多摩甲斐国立公園区域に指定されています。豊かな緑と水辺の保全と併せ、良好な自然資源を活用した観光拠点づくりなど、豊かな自然を守り、多くの人が集い楽しむまちづくりを進めます。

3)歴史・文化財など地域資源を生かした名所づくりを進めます

山岳地域の自然と集落地域の切妻民家群などの特徴ある集落景観、また、美しい樹園景観、富士山や甲府盆地を遠望する丘陵地の雄大な眺望景観を有しています。眺望景観の保全と併せ、歴史文化的景観の保全と特色ある歴史資源を生かした拠点の形成など、地域資源を生かした名所づくりを進めます。

4)地域と地域を結ぶ道路網の確立と暮らしのみちづくりを進めます

西関東連絡道路、地域環状道路（フルーツライン）、クリスタルラインについては、概ね整備が完了しています。その他、地域・集落間を連絡する主要な林道や生活道路の整備、コミュニティバスの運行強化、交通安全対策、緊急時迂回ルート確保など、暮らしのみちづくりを進めます。

5)地域で支え合う住環境づくりを進めます

地域中心部や中山間地域に点在する集落の住環境の向上を図るため、高齢者など人にやさしいまちづくり、治山・治水対策や地震・火災に対する安全・安心なまちづくり、生活道路や公園・広場など身近な住環境の整備・充実を図り、地域で支え合う住環境づくりを進めます。

(3)地域まちづくり方針

1) 農業やまちなかを元気にし、笑顔でふれあうまちづくりを進めます

巨峰の郷として丘陵地の樹園地が雑木林や里山と相まって美しい農村景観を形成しています。しかしながら、農業担い手の高齢化、後継者不足、兼業農家化の進行、遊休農地・耕作放棄地の増加など、地域農業の停滞や多くの課題を抱えています。また、地域の中心である窪平地区周辺は商店街の衰退など空洞化が懸念されています。

そのため、次のような施策を進め、農業の活性化と併せ観光と連携した産業・地域振興を図ります。

- 農地の保全、遊休農地対策の推進と有効活用方策の検討
- 都市機能の集約化など適正な土地利用の誘導
- 窪平地区周辺の機能強化と魅力の向上
 - ・小さな拠点制度の活用
 - ・牧丘支所を中心とした生活拠点の整備検討
 - ・商店街まちなみ環境整備、店舗の共同化、パティオ事業の導入検討、空き店舗の有効利用など商店街の活性化、観光まちづくりと連携した新たな観光交流施設の検討など
- 花かげの郷・道の駅まきおか周辺の機能強化と活性化推進
- 市有林等を活用した施設整備の検討
- 市民農園、観光農園やグリーンツーリズムの導入など都市と農村の交流促進
- クラインガルテンの整備検討
- 観光ブランドづくりの推進
 - ・観光農業との連携や遊休農地を活用した名所づくり
 - ・名産品によるおいしさ再発見、一品運動の推進、農産物直売所活用の観光交流推進など
- 若年層の雇用を促す新たな産業おこしの推進
 - ・観光まちづくりの推進による新たな地域産業の創出など
- 鳥獣害対策の推進
- 倉科工業団地への企業誘致の促進



・窪平の中心部

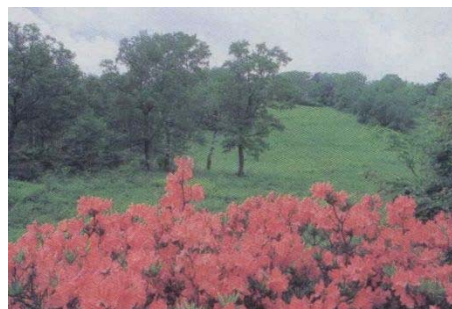
2) 豊かな自然を守り、多くの人が集い楽しむまちづくりを進めます

北部の山岳森林地域一帯が秩父多摩甲斐国立公園区域に指定され、標高 2,000m級の山岳から標高 700m前後の里山まで、湖や溪谷、大小の河川などの豊かな自然と起伏に富んだ美しい景観、良好な眺望に恵まれています。

そのため、次のような水と緑の保全と、豊かな自然環境に多くの人が親しみ憩うレクリエーション活用を進めます。

- 秩父多摩甲斐国立公園区域の環境保全
- 甲武信ユネスコエコパークの保全と活用
- 豊かな自然環境の保全
 - ・乙女湖周辺、乙女高原、帯那山、大弛峠周辺など

- 水環境の保全・回復と森林資源の保全と活用
 - ・カラマツ林の有効利用、森林セラピー事業など森林活用の健康づくりの場の整備
- 集落地域を囲む里山の緑や農地（樹園）の緑の保全と活用
- ホタルなど貴重な動植物の自然生態系の保全と回復
- 自然や環境に配慮し、省エネ・リサイクルなど循環型社会をめざす環境にやさしいまちづくりの推進
- 史跡の活用による水と緑の拠点づくり
 - ・杣口金桜神社、浄居寺城跡・小野田城跡周辺
- 良好な自然資源を生かした観光拠点づくりと環境保全の推進
 - ・乙女湖周辺、乙女高原、帯那山、大弛峠など
- 自転車道の充実・整備
 - ・乙女湖、大弛峠の自転車ヒルクライムイベント検討など
- 登山道・ハイキングルートの充実
- 幹線道路の緑化推進による緑のネットワークづくり
- 地域の特色ある身近な緑の保全と屋敷林や社寺林など身近な雑木林の保全と活用
- 市民参加による緑化の推進と緑地の適切な維持管理の推進



・乙女高原



・杣口金桜神社

3) 歴史・文化財など地域資源を生かした名所づくりを進めます

山岳地域の豊かな自然と、秩父往還により繁栄した歴史文化を伝える切妻型民家群などの特徴ある景観を有しています。また、美しい農村景観や富士山、甲府盆地の眺望など、斜面丘陵地の眺望景観は特筆すべきものがあります。

そのため、次のような景観づくりを進め、貴重な地域の財産を守り生かします。

- 山岳・森林や水辺などの自然景観や、起伏に富んだ農村景観など、ふるさとを代表する良好な景観の保全と活用
- 笛吹川沿いに展開する一団の樹園景観の保全
 - ・日本農業遺産の保全と活用
- 富士山や市街地を望む斜面傾斜地の良好な眺望場所の保全
 - ・保健農園ホテルフフ山梨など
- 新たな眺望点の整備や眺望域の景観コントロールなど優れた眺望景観の保全
- 歴史文化的景観の保全と特色ある歴史資源を生かした観光拠点づくり
 - ・西保の切妻民家群と集落、杣口金桜神社・奥社地、中牧神社と小田野城址、鍵懸関跡、西川家住宅など
- 観光レクリエーション拠点の景観向上
 - ・乙女高原、保健農園ホテルフフ山梨など
- 歴史的なまちなみの形成
 - ・西保の切妻民家群など
- 景観拠点、景観資源を結ぶ景観ネットワークの形成
- 身近な暮らしに根付いた景観資源の保全と活用
 - ・社寺、道祖神、祭り、伝統行事など



・西保の切妻民家群

- 温泉の活用
 - ・花かげの湯や鼓川温泉など
- フィールドミュージアム構想、文化財保存活用地域計画の推進
- 市民等の協働による景観づくりの推進

4) 地域と地域を結ぶ道路網の確立と暮らしのみちづくりを進めます

本地域に係わる西関東連絡道路や地域環状道路(フルーツライン)は概ね整備が完了していますが、延伸等については、道路整備は引き続き国や県に要請していきます。

その他、主要な林道や生活道路の整備、コミュニティバス等の運行強化、交通安全対策、緊急時迂回ルート確保など、暮らしのみちづくりを進めていきます。

- 西関東連絡道路の延伸促進
 - ・岩手ランプ以北区間の延伸要請（構想路線）
- 山岳観光の軸となる道路整備の促進
 - ・既存林道を活用し広瀬湖周辺への延伸整備の促進
- 地域連絡道路の改良・改善
 - ・県道塩平窪平線、県道柳平塩山線など
- バスターミナルの充実
 - ・窪平地区など
- コミュニティバスの運行ルートの検討
- 災害等緊急時迂回ルートの確保
 - ・県道柳平塩山線、塩平窪平線など
- 誰もが安心・快適に利用できる暮らしのみちづくりの推進
 - ・生活道路の改善・整備や交通安全対策の充実など



・クリスタルライン



・県道塩平窪平線

5) 地域で支え合う住環境づくりを進めます

地域の中心となっている窪平地区周辺など古くからの中心市街地や営農環境の衰退など、都市化の進展に伴い住環境の変化が懸念されます。また、中山間地域に点在する集落の住環境向上が課題です。

そのため、山間地域の緑と水辺や集落・まちなみが一体となった自然と共生した住環境を維持するとともに、生活基盤の改善と整備を進めます。

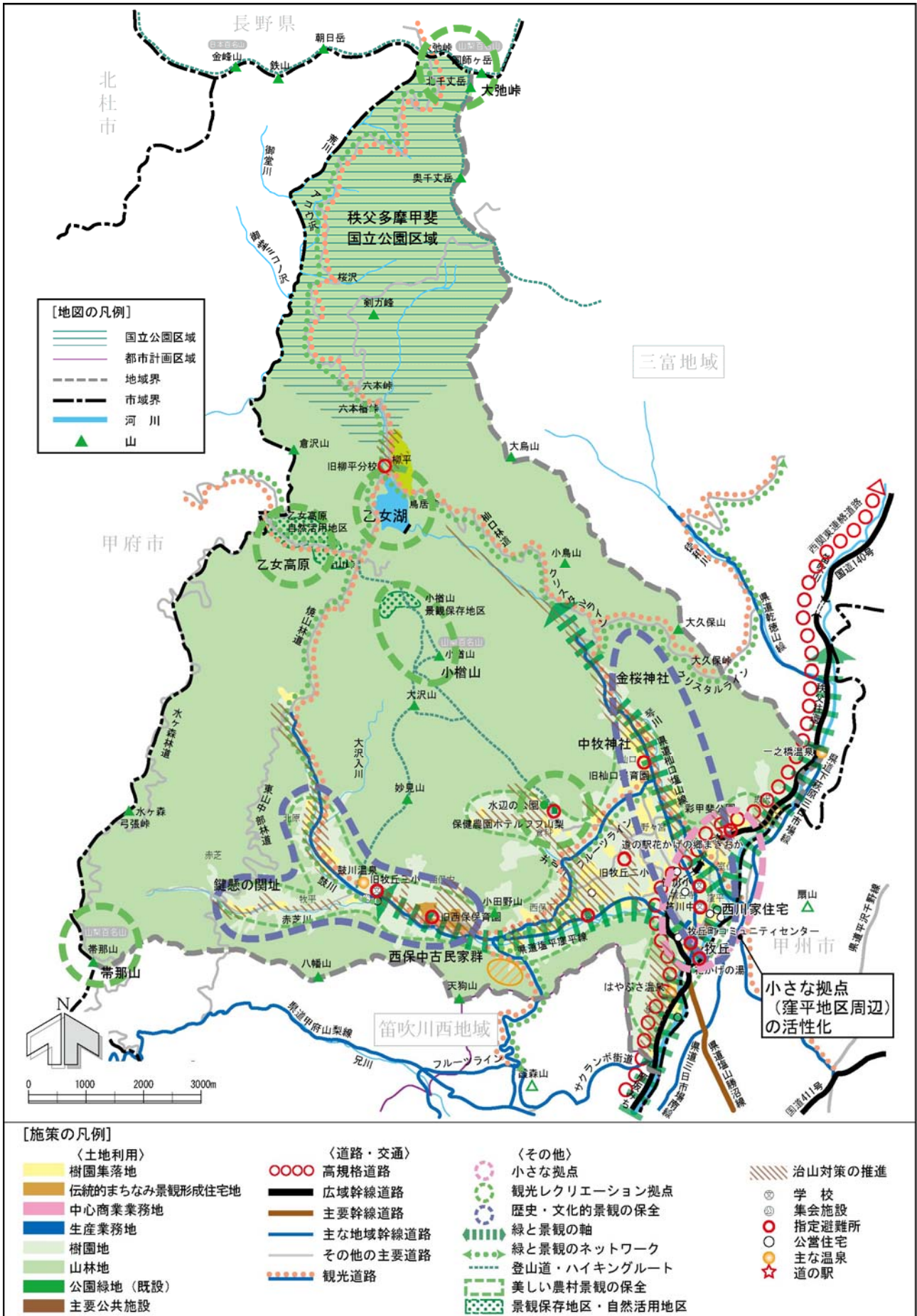
- 医療サービスの充実
 - ・市立牧丘病院を中心とした、在宅医療の充実
- 人にやさしいまちづくりの推進
 - ・公共施設のバリアフリー化や福祉施策と連携した環境づくりなど
- 安全・安心な防災まちづくりの推進
 - ・治山・治水対策や地震・火災に対する安全性の向上
 - ・指定避難所・福祉避難所の充実、防災施設の充実・強化など

- 生活道路や交通環境の整備・充実
 - ・集落地生活道路の改善・整備、危険性の高い交差点の改善、通学路の安全対策の強化など
- 公園・広場の整備・充実
- 「山梨市公共施設等総合管理計画」に基づく公共施設の適切な管理の促進
- 閉校となった校舎の有効活用
- 公共下水道地域（市街地周辺等）の下水道加入の促進、公共下水道地域以外の地域（山間集落地域等）の合併処理浄化槽の普及促進、上水道供給の充実
- 防犯まちづくりの推進
 - ・防犯灯の設置促進、地域ぐるみの防犯体制づくりなど
- 定住を促す良質な住まいづくりの推進
 - ・公的住宅の供給、2地域居住（マルチハビテーション）・田舎暮らしの促進、高齢者・障害者等に配慮した住まいづくり、若者をひきつける個性ある住まいづくり
- 地域住民が支え合う地域コミュニティの活性化の推進



・花かげホール

■地域まちづくり方針図（牧丘地域）

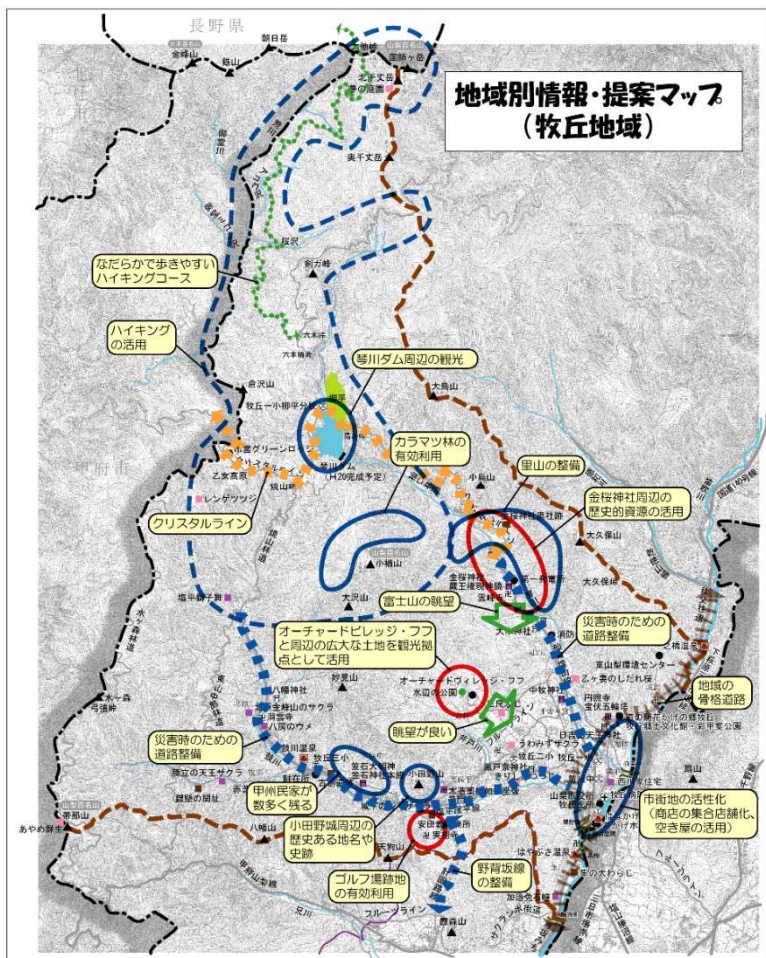
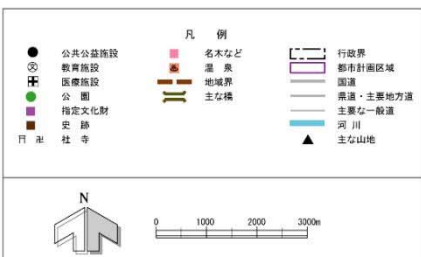


〈参考〉地域まちづくりの提案(策定委員会地域別会議より)

■まちづくりフィッシュボーン



■地域別情報・提案マップ



4. 三富地域

■位置

- 三富地域は、山梨市の北部に位置し、地域の北部は埼玉県及び長野県、南部は甲州市に隣接し、南西部で牧丘地域に隣接する山間の地域です。面積は 134.91km² で、本市の約 47%を占めています。
- 北部方面を秩父山系の 2,000m級の山岳に囲まれる概ね急峻な地域であり、笛吹川の最上流部で、河川沿いの平坦地に集落が点在しています。
- 西沢渓谷、清水渓谷（一之釜）、徳和渓谷など豊かな自然環境を有し、山梨市においては、自然景観と観光資源の融合した地域特性を有しています。
- 国道 140 号が笛吹川に沿い地域を縦貫しており、雁坂トンネルにより、埼玉県秩父地域と接続しています。



(1) 地域の特性と課題

【地域の特性】

- 本市では最も人口の少ない地域で、人口・世帯数とも減少しています。

三富地域の人口・世帯数は、国勢調査によると平成 27 年 10 月現在、で 860 人、327 世帯、本市人口の約 2%と最も少ない地域で、市街地との人口格差が拡大しています。人口及び世帯数とも急速に減少しており、過疎化や少子高齢化が進行しています。

- 本地域の9割が森林で、観光が基幹産業となっています。

本地域は大部分が山岳・森林に囲まれ約 9 割が森林となっています。地形上の制約から農業に厳しい環境となっており、これまでは養蚕・林業を主に自給的農業を主体としてきましたが、温泉発掘、西沢渓谷の開発整備が進み観光が基幹産業となっています。

- 国道 140 号を骨格に県道や林道が山間地域を連絡しています。

骨格となる国道 140 号が地域を縦貫し、秩父方面を結ぶ雁坂トンネルは北の玄関口、交通要衝地となっています。その他、徳和集落を結ぶ県道乾徳山線や下荻原三日市場線、林道などが山間地域を連絡しています。

- 地域南部に生活拠点となる集落地が形成されています。

地域南部に主要な集落地が形成されており、笛吹川や徳和川など河川に沿って集落が点在しています。地域の生活拠点となっている川浦・下釜口周辺地区には市役所支所などの主要な公共公益施設が多く立地していますが、近年は人口減少とともに中心部として活力が低下しています。

- 特徴的な文化財が多く分布しています。

大嶽山那賀都神社本殿、吉祥寺本堂、川浦口留番所、旧坂本家住宅、伊勢之宮石仏群、城山城郭遺構などの歴史文化資源が点在しています。

- 北部の山岳森林地域は国立公園に指定されています。

北部の山岳森林地域一帯が秩父多摩甲斐国立公園区域に指定され、甲武信ユネスコエコパークの核心地域が含まれており、乾徳山や甲武信ヶ岳・国師ヶ岳などの山梨百名山、笛吹川や徳和川、西沢渓谷や清水渓谷（一之釜）、徳和渓谷などの豊かな自然環境を有しています。

特に、西沢渓谷は数多くの観光客が訪れる本市の観光拠点となっており、その他、ダム人造湖である広瀬湖や道の駅みとみ、笛吹の湯、キャンプ場、また、旅館・民宿などの観光資源があります。

【まちづくりの課題】

●豊かな自然環境を守り、生かしていくことが必要です。

北部の山岳地域は秩父多摩甲斐国立公園区域に指定され、乾徳山や甲武信ヶ岳・国師ヶ岳などの山梨百名山や西沢渓谷などの優れた自然環境を有しており本市の財産となっています。

このかけがえのない地域の財産を守り、次代に継承していくことが大きな課題です。

●良好な資源を生かして地域の活力を高めていくことが必要です。

西沢渓谷などの豊かな自然資源をはじめ、地域の生活の中心となっている川浦・下釜口地区、道の駅みとみ、笛吹の湯、キャンプ場、旅館・民宿などの観光施設、秩父往還の歴史をとどめる歴史文化的資源など、特色ある地域資源を生かした観光交流の活性化などにより地域の活力を高めていくことが必要です。

●観光道路など、地域内を結ぶ道路網の強化が必要です。

骨格となる国道 140 号の改良整備は進められてきましたが、今後は、各集落間を結ぶ道路網整備、既存林道を活用したクリスタルラインの整備促進、広瀬湖周辺の観光道路網の形成、バスなど公共交通の利便性の向上が課題です。

●暮らしに身近な生活環境の改善・充実が必要です。

集落地域については、水害や崖崩れなどに対する防災性の向上をはじめ、生活道路や交通環境の改善、身近な公園や公共施設の有効活用など、安全快適に住まえる身近な住環境の改善が課題です。

●特色ある地域資源の保全とまちづくりへの活用が必要です。

本地域には、大嶽山那賀都神社本殿、川浦口留番所跡、旧坂本家住宅、伊勢之宮石仏群などの歴史文化資源が点在しています。

こうした貴重な地域資源を保全するとともに、どのようにまちづくりに活用していくかが課題です。

◆地域別会議における地域の特性・問題点（平成 18 年度に実施）

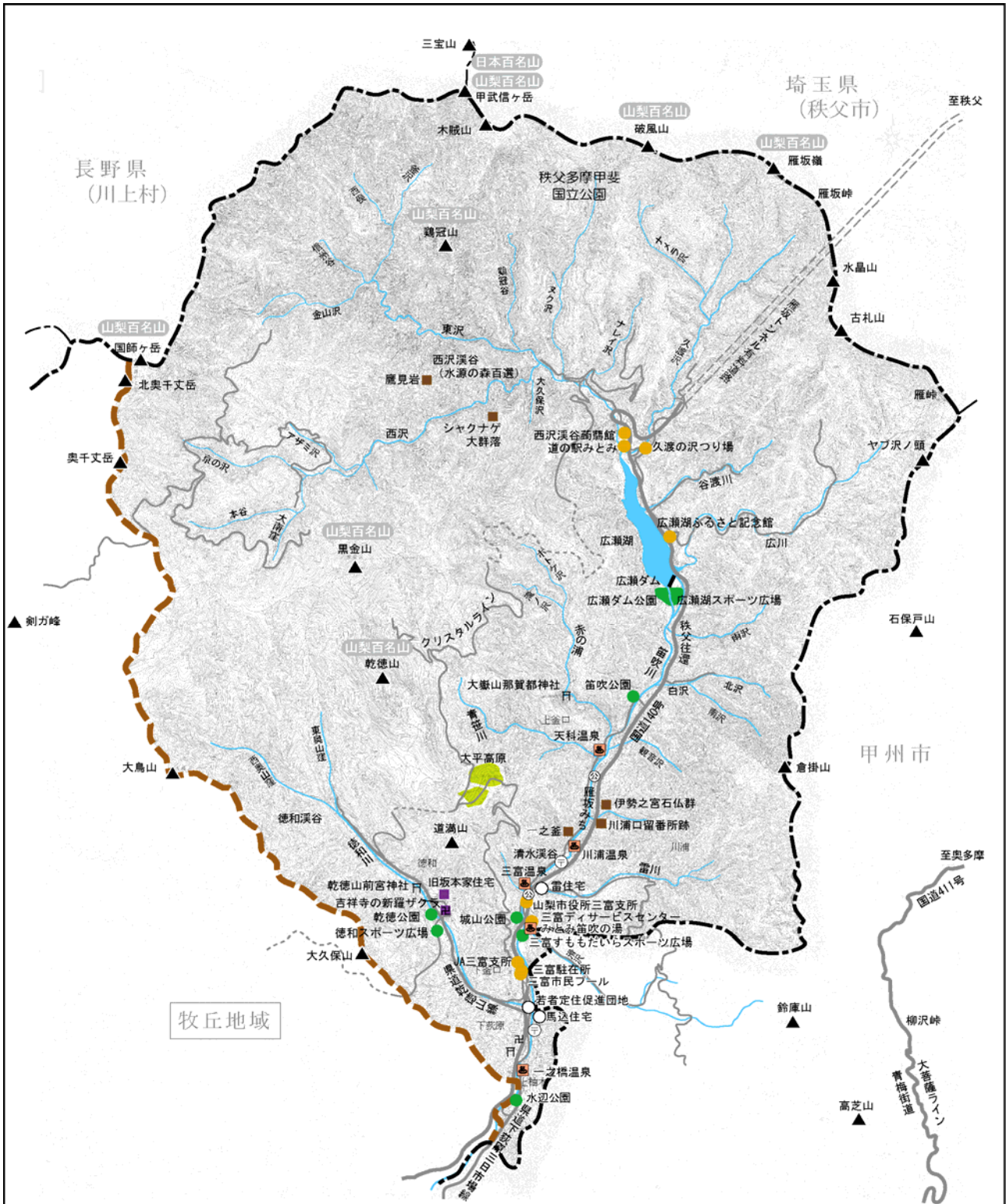
◇良いところ

- ・自然や資源も豊か、人間も豊か
- ・自然が美しい／多くの自然財産／山と渓谷／なつかしいまちなみの眺望景観／温泉活用
- ・地域の行事・伝統文化／人のつながりが良い

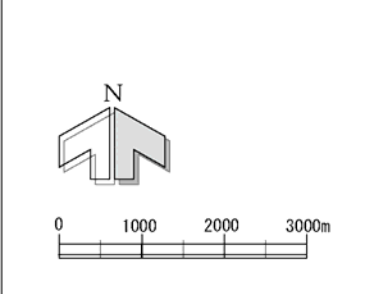
◇問題なところ

- ・みち（主要幹線が 1 本のみ、公共交通が不便、災害時の避難・代替路、資源を結ぶ遊歩道整備）
- ・地域の生産、地域を生かした収入源
- ・貴重な資源ダムの活用／大平牧場周辺活用／鳥獣害被害対策／地域のつながり衰退の懸念
- ・地域にやさしい施設整備（総合福祉施設など）

■三富地域の現況特性図



凡 例		
●	公共公益施設	温泉
⊗	教育施設	地域界
+	医療施設	○
●	公園	公営住宅
■	指定文化財	行政界
■	史跡・名勝	—
日 社 寺		—
		—
		—
		—
		▲
		主な山地



(2)地域の将来像とまちづくりの目標

<将来像>

子どもたちに教えたい 自然を生かした人間づくり 人が集まる交流の三富

<基本理念と目標>

体験して、楽しんで、再来して、住みたくなくて、職づくりから まちづくりへ
あるものを生かす！～三富の財産、豊かな自然環境と観光資源を生かそう
(西沢渓谷、乾徳山などの豊富な地域資源)

<まちづくりの方針>

1)地域全体がフィールドミュージアム、豊かな自然環境を守り生かします

観光拠点である西沢渓谷や乾徳山などの山々、雄大な自然やうるおいある水辺空間など、地域全体が自然の宝庫といえます。秩父多摩甲斐国立公園区域の豊かな自然環境を守り、多様な自然資源を結ぶネットワークづくりなど、地域全体がフィールドミュージアムとなるようなまちづくりを進めます。

2)住む人が自慢できる魅力ある景観づくりを進めます

地域には雄大な自然景観と往時をしのぶ歴史文化資源など特徴的な地域資源が多く分布しています。こうした良好な資源を発掘・再認識し、歴史文化的景観の保全や歴史的まちなみの形成、景観資源のネットワーク化を図るなど、住む人が自慢できる魅力ある景観づくりを進めます。

3)生業へつながる人が集まる観光・交流のまちづくりを進めます

山岳や渓谷等の美しい自然、豊かな森林資源、なつかしい里山の風景と歴史資源、温泉や特産物などの資源を有し、観光が基幹産業となっています。地域の中心となっている川浦・下釜口地区の整備・活性化の推進と併せ、三大渓谷の観光・交流ネットワークや特産品による観光ブランドづくりなど、資源を生業へつなげ、多くの人が集まる観光・交流のまちづくりを進めます。

4)北の玄関口の交通環境を確立し、安全・快適なみちづくりを進めます

骨格となる国道 140 号と雁坂トンネルにより秩父・北関東方面の玄関口となっています。西関東連絡道路の延伸整備や国道 140 号の機能強化については引き続き国や県に要請し、北の玄関口にふさわしい交通環境の確立を目指します。地域内については集落間を連絡する主要な林道や生活道路の整備、コミュニティバスの運行強化、交通安全対策、緊急時迂回ルート確保など、暮らしのみちづくりを進めます。

5)元気で健康に楽しく暮らせる住環境づくりを進めます

高齢化の進行と併せ中山間地域の過疎化が進んでいます。今後、高齢者など人にやさしいまちづくりの一層の推進、治山・治水対策や防災に向けた安全・安心なまちづくり、生活道路や公園・広場など身近な住環境の整備・充実など、誰もが元気で健康に楽しく暮らせる住環境づくりを進めます。

(3) 地域まちづくり方針

1) 地域全体がフィールドミュージアム、豊かな自然環境を守り生かします

本市の観光拠点ともなる西沢渓谷や乾徳山など、山梨百名山の山々を擁する深遠で雄大な森林と水辺環境を有し、さながら地域全体が自然の宝庫・博物館となっています。このかけがえのない自然を守るとともに、豊かな自然資源を活用した多様なレクリエーション活動の場づくりを進めます。

- 秩父多摩甲斐国立公園区域の環境保全
- 甲武信ユネスコエコパークの保全と活用
- 豊かな自然環境の保全
 - ・ 西沢渓谷、大平高原、広瀬湖周辺など
- 水環境の保全・回復と森林資源の保全と活用
- 集落地域を囲む里山の緑や農地（樹園）の緑の保全と活用
- ホタルなど貴重な動植物の自然生態系の保全と回復
- 自然や環境に配慮し、省エネ・リサイクルなど循環型社会をめざす環境にやさしいまちづくりの推進
- 史跡の活用による水と緑の拠点づくり
 - ・ 徳和地区周辺
- 自転車道の充実・整備
 - ・ 広瀬湖周辺など
- 資源を結ぶ登山道・ハイキングルートの充実と登山基地のまちづくり
- 清水渓谷（一之釜）周辺の散策周遊コースづくり
- 地域の特色ある身近な緑の保全と屋敷林や社寺林など身近な雑木林の保全と活用
- 幹線道路の緑化推進による緑のネットワークづくり
- 市民参加による緑化の推進と緑地の適切な維持管理の推進
- 野生動物との共生（鳥獣害対策との調整）



・ 西沢渓谷七ツ釜五段の滝



・ 広瀬湖

2) 住む人が自慢できる魅力ある景観づくりを進めます

雄大な自然景観と、秩父往還により培われた歴史文化資源が集落や街道沿いに垣間見えますが、その存在があまり知られず充分活用されていない、景観的に配慮されているものが少ないという現状です。そのため、良好な資源を発掘・再認識し、次のような自然環境と歴史文化の融合した景観づくりを進めます。

- 山岳・森林や水辺などの自然景観、里山集落景観などふるさとを代表する良好な景観の保全と活用
 - ・ 西沢渓谷、清水渓谷（一之釜）、徳和渓谷の三大渓谷の保全と活用など
- 新たな眺望点の整備や眺望域の景観コントロールなど優れた眺望景観の保全
- 美しい農村景観の保全
 - ・ 日本農業遺産の保全と活用
- 歴史文化的景観の保全
 - ・ 徳和の傾斜地の集落景観、旧坂本家住宅など

- 身近な景観資源や伝統行事など暮らしに根付いた風景や景観資源の保全と活用
 - ・大嶽山那賀都神社、吉祥寺の新羅桜など
- 歴史的なまちなみの形成
 - ・吉祥寺や徳和の斜面集落景観など
- 景観拠点、景観資源を結ぶ景観ネットワークの形成
 - ・三大渓谷のネットワークづくりなど
- 市民等との協働による景観づくりの推進
 - ・地域で培われた精神的な遺産を大切に守るなど



・徳和の集落

3) 生業へつながる人が集まる観光・交流のまちづくりを進めます

山岳や渓谷等の美しい自然、豊かな森林資源、なつかしい里山の風景と歴史資源、温泉や特産物など多くの資源を有していますが、これらが連携し一体となった地域の観光資源・観光ブランドに至っていないのが現状です。そのため、地域の中心となっている川浦・下釜口の活性化をはじめ、多様な観光・交流まちづくりを進め地域の活性化を推進します。

- 豊かな森林資源の活用
 - ・森林セラピー事業など森林を活用した健康づくりの場の整備
- 休耕地・遊休農地対策の推進と有効活用方策の検討
- 観光農園やグリーンツーリズムの導入など都市と農村の交流促進
- 川浦・下釜口地区の機能強化と魅力の向上
 - ・小さな拠点制度の活用
 - ・ふれあい交流拠点整備検討、温泉・宿泊ゾーンの魅力向上、観光まちづくりと連携した新たな観光交流施設の検討など
- 道の駅みとみ周辺の機能強化と活性化推進
- 良好な自然資源や特色ある景観資源を生かした観光拠点づくり
 - ・西沢渓谷周辺、乾徳山、広瀬湖、清水渓谷（一之釜）、徳和の集落地景観、旧坂本家住宅など
- 三大渓谷の観光・交流ネットワーク
 - ・三十三の滝巡りスタンプラリー（西沢渓谷、清水渓谷（一之釜）、徳和渓谷）と特産物を活用したネットワーク
- 観光基盤の整備充実
 - ・クリスタルラインなどの観光道路整備など
- 温泉の活用
 - ・みとみ笛吹の湯の活用など
- 観光ブランドづくりの推進
 - ・特産品づくりなど観光農業との連携やおいしさ再発見など



・一之釜



・道の駅みとみ

- 地産地消の推進
 - ・健康的な暮らしを育む食育の啓発・推進
- フィールドミュージアム構想、文化財保存活用地域計画の推進
- 若年層の雇用を促す新たな産業おこしの推進
 - ・観光まちづくりの推進による新たな地域産業の創出など

4) 北の玄関口の交通環境を確立し、安全・快適なみちづくりを進めます

西関東連絡道路については山梨県側及び埼玉県側も着々と整備が進められており、将来的には広域的な北の玄関口としての役割が期待されていることから、延伸については引き続き国や県に要請していきます。

また、主要な林道や生活道路の整備、コミュニティバス等の運行強化、交通安全対策、緊急時迂回ルート確保など、北の玄関口にふさわしい安全・快適な地域交通環境の向上を図ります。

- 西関東連絡道路の延伸促進
 - ・岩手ランプ以北区間の延伸要請（構想路線）
- 国道 140 号の改良促進（県要請）
 - ・主要交差点の改良、登坂車線の設置、定期的な保守整備の推進、防災機能の強化など
- 山岳観光の軸となるクリスタルラインの整備促進
 - ・既存林道活用し広瀬湖周辺への延伸整備
- 地域連絡道路の改良・改善
 - ・県道乾徳山線の改良など
- コミュニティバスの運行強化
- 現道強化による緊急時迂回ルートの確保
 - ・広瀬～芹沢、上荻原～スポーツ広場～馬込
- 冬季の道路凍結など雪害対策
 - ・徳和～国道 140 号、塩平・徳和線(徳和～杣口間)の早期整備など（集落孤絶の改善）
- 誰もが安心・快適に利用できる暮らしのみちづくりの推進
 - ・生活道路整備や交通安全対策の充実など



・国道 140 号

5) 元気で健康に楽しく暮らせる住環境づくりを進めます

高齢化の進行や若者・若い世帯などの人口流出が進み、中山間地域の過疎化が進行しており、それに伴い、地域活力やコミュニティの低下が懸念されています。そのため、次のような住環境づくりを進め、若者などの定住を促し、地域に暮らす心地よさを誰もが享受できるまちづくりを進めます。

- 医療サービスの充実
 - ・市立牧丘病院を中心とした、在宅医療の充実
- 人にやさしいまちづくりの推進
 - ・公共施設のバリアフリー化や福祉施策と連携した環境づくり（元気な高齢者が元気に暮らせる福祉施策の推進、総合的な福祉施設づくりの検討など）

- 安全・安心な防災まちづくりの推進
 - ・ 治山・治水対策や地震・火災に対する安全性の向上
 - ・ 指定避難所・福祉避難所の充実、防災施設の充実・強化
 - ・ 広瀬湖水利の検討など
- 生活道路や交通環境の整備・充実
 - ・ 集落道路の改善・整備、危険性の高い交差点の改善、通学路の安全対策の強化など
- 身近な公園・広場の整備・充実
- 「山梨市公共施設等総合管理計画」に基づく公共施設の適切な管理の促進
- 公共下水道地域以外の地域（山間集落地域等）の合併処理浄化槽の普及促進、上水道供給の充実
- 防犯まちづくりの推進
 - ・ 防犯灯の設置促進、地域ぐるみの防犯体制づくりなど
- 定住を促す良質な住まいづくりの推進
 - ・ 公的住宅の供給、2地域居住（マルチハビテーション）・田舎暮らしの促進、高齢者・障害者等に配慮した住まいづくり、若者をひきつける個性ある住まいづくり
- 地域コミュニティ活性化の推進
 - ・ 子どもたちが元気に暮らし地域の知恵袋（高齢者等）を生かすコミュニティづくり
 - ・ 行事・イベント等の活性化と地元開催の推進

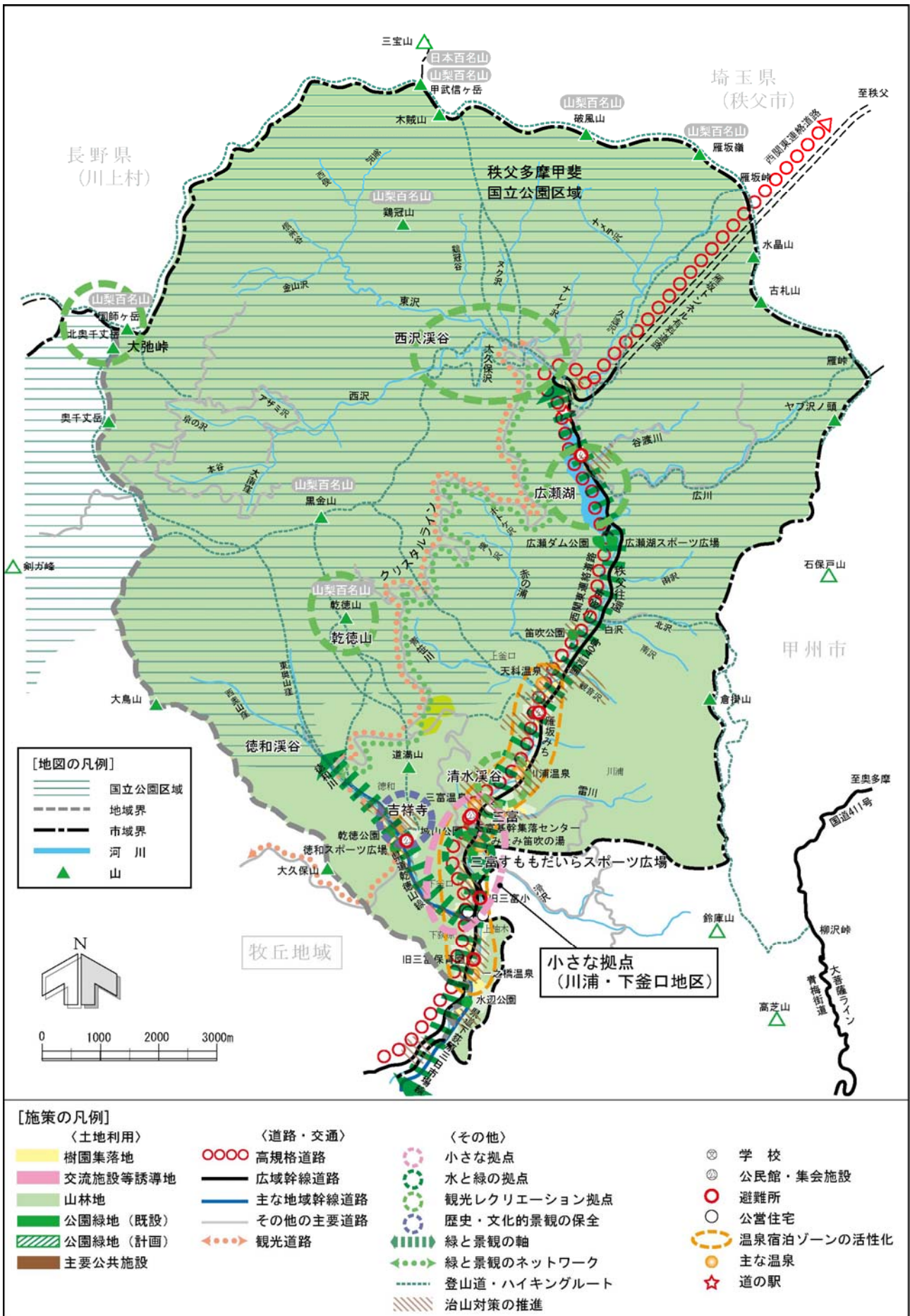


・ 笛吹の湯とスポーツ広場



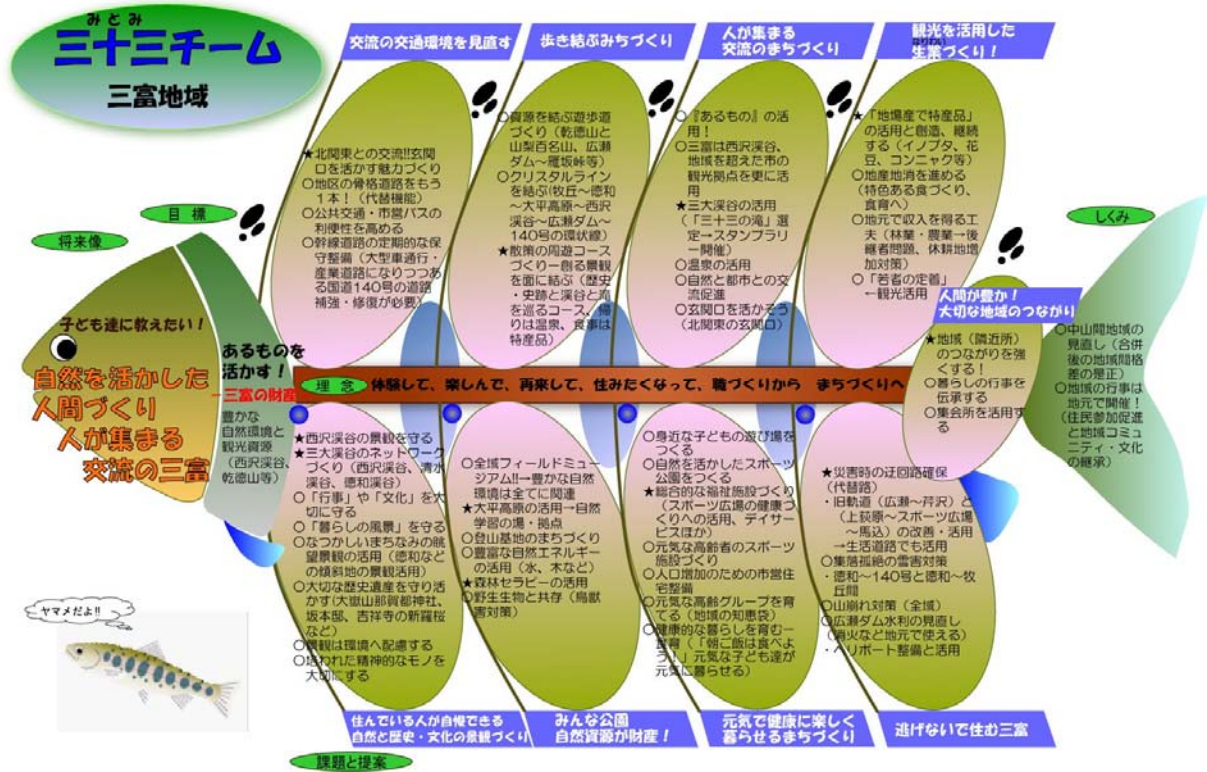
・ 雁坂トンネルに続くループ橋

■地域まちづくり方針図（三富地域）

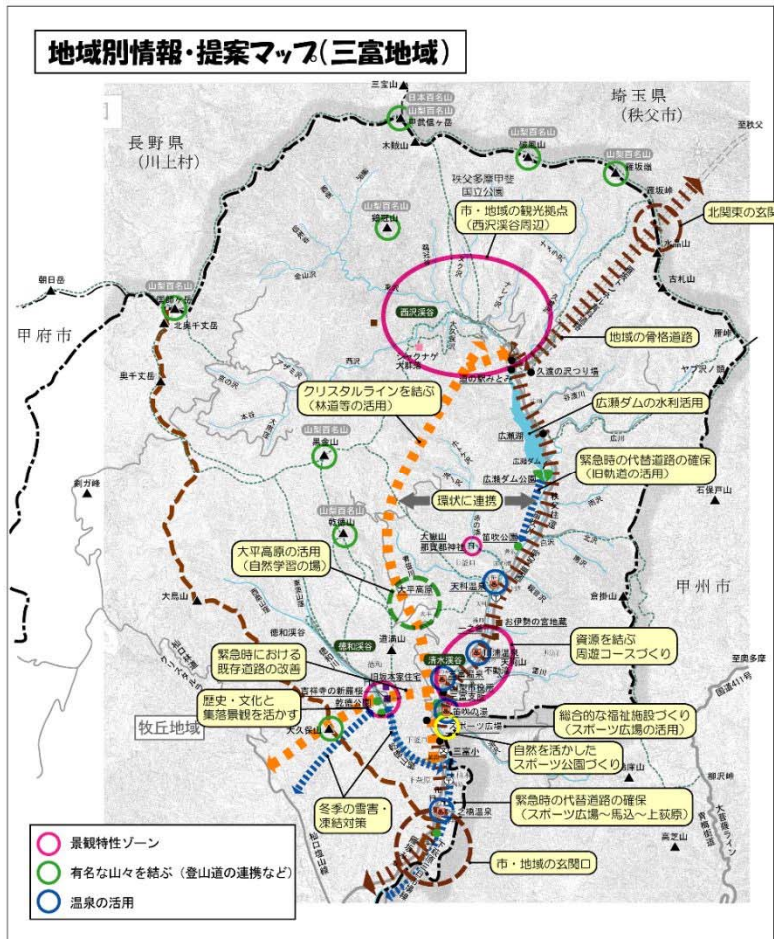
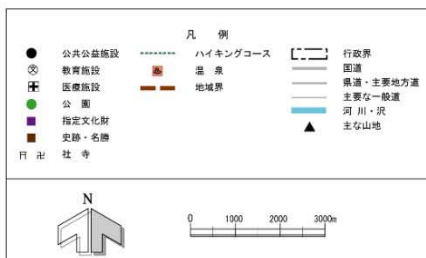


〈参考〉地域まちづくりの提案(策定委員会地域別会議より)

■まちづくりフィッシュボーン



■地域別情報・提案マップ





・柳平から望む金峰山